

VIII. 保 健 衛 生

保 健 衛 生

1. 予防接種事業

感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を防止するための措置として、予防接種法に基づく定期接種、および、行政措置として任意接種の助成を実施している。

実施種目

種類			対象年齢		接種方法	
					回数	接種間隔
定期接種	A類疾病	ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ 第1期	初回	生後2月から生後90月に至るまで	3回	20日以上、標準的には20日から56日までの間隔
			追加		1回	初回3回目終了後6か月以上の間隔
		ジフテリア 破傷風 第2期	11歳以上13歳未満		1回	
		麻疹風しん 第1期	生後12月から生後24月に至るまで		1回	
		麻疹風しん 第2期	5歳以上7歳未満 (ただし、小学校入学前年の4月1日から3月31日)		1回	
		風しん 追加的対策 第5期	昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性を対象に実施する風しん抗体検査で十分な量の風しんの抗体がないことが判明した方		1回	
		日本脳炎	1期 初回	生後6月から生後90月に至るまで	2回	6日以上の間隔
			1期 追加		1回	初回終了後6か月以上の間隔
			2期	9歳以上13歳未満	1回	
		Hib感染症	生後2月から生後60月に至るまで		初回接種年齢によって 1～4回	
		小児用肺炎球菌				
		子宮頸がん	12歳となる日の属する年度の初日から16歳となる日の属する年度の末日までの間にある女子		3回	
		水痘	生後12月から生後36月に至るまで		2回	3か月以上の間隔
		B型肝炎	1歳に至るまで		3回	27日以上の間隔において2回接種した後、第1回目の注射から139日以上の間隔において3回目を接種

種類			対象年齢		接種方法	
					回数	接種間隔
定期接種	A類疾病	ロタウイルス	経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン	出生 6 週後から出生 24 週後まで	2 回	27 日以上の間隔
			5 価経口弱毒生ロタウイルスワクチン	出生 6 週後から出生 32 週後まで	3 回	
	B類疾病	高齢者インフルエンザ	・ 65 歳以上 ・ 60 歳から 65 歳未満で一定の障害を有するもの		毎年度 1 回	
		高齢者肺炎球菌	・ 65 歳 ・ 60 歳から 65 歳未満で一定の障害を有するもの 70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳（令和 6 年 3 月 31 日までの経過措置）		生涯で 1 回	
任意接種	麻しん風しん		定期接種の機会を逸失した 18 歳（高校 3 年生に相当する年齢）までの方		1 ～ 2 回	
	先天性風しん症候群対策	風しん抗体検査	① 19 歳以上の女性（妊娠を予定または希望） ② 19 歳以上の「妊婦の同居者」 ③ 19 歳以上の「①の同居者」		生涯で 1 回	
		麻しん風しん	① 19 歳以上の女性（妊娠を予定または希望し、抗体価が低い方） ② 19 歳以上の「妊婦の同居者」（抗体価が低い方） ③ 19 歳以上の「①の同居者」（抗体価が低い方）		生涯で 1 回	
		風しん				
	おたふくかぜ		接種日時点で 1 歳以上の未就学児		1 回	
	帯状疱疹		生ワクチン（水痘ワクチン）	50 歳以上	1 回	
			不活化ワクチン（帯状疱疹ワクチン）	50 歳以上	2 回	2 か月以上 6 か月以内

実施方法 個別接種

周知方法 市報、健康だより、ポスター、個別通知、ホームページ

予防接種法附則第 7 条第 1 項の規定に基づき、令和 3 年 2 月 17 日から、新型コロナウイルス感染症に係る臨時の予防接種事業を実施した。

実施種目

種類			対象年齢		接種方法	
					回数	接種間隔
臨時接種	新型コロナウイルスワクチン ※ 1	ファイザー（mRNA）	初回	12 歳以上	2 回	18 日以上、標準的には 20 日の間隔
		ファイザー（mRNA） （オミクロン株対応 2 価ワクチン）	追加	12 歳以上	1 回	前回接種完了から、3 か月以上の間隔
		ファイザー（mRNA） （オミクロン株対応 1 価ワクチン（XBB. 1. 5）） ※ 2	追加	12 歳以上	1 回	前回接種完了から、3 か月以上の間隔

保 健 衛 生

種類		対象年齢		接種方法		
				回数	接種間隔	
臨時接種	新型コロナウイルスワクチン ※1	モデルナ（mRNA）	初回	12 歳以上	2 回	20 日以上、標準的には 27 日の間隔
		モデルナ（mRNA） （オミクロン株対応 2 価ワクチン）	追加	12 歳以上	1 回	前回接種完了から、3 か月以上の間隔
		モデルナ（mRNA） （オミクロン株対応 1 価ワクチン（XBB. 1. 5））※2	追加	12 歳以上	1 回	前回接種完了から、3 か月以上の間隔
		第一三共（mRNA） （オミクロン株対応 1 価ワクチン（XBB. 1. 5））※3	追加	12 歳以上	1 回	前回接種完了から、3 か月以上の間隔
		武田（ノババックス） （組換えタンパクワクチン）※4	初回	12 歳以上	2 回	通常 3 週間の間隔
			追加	12 歳以上	1 回	初回接種完了から、6 か月以上の間隔
		小児用ファイザー（mRNA）	初回	5 歳以上 11 歳以下	2 回	18 日以上、標準的には 20 日の間隔
		小児用ファイザー（mRNA）（オミクロン株対応 2 価ワクチン）	追加	5 歳以上 11 歳以下	1 回	前回接種完了から、3 か月以上の間隔
		小児用ファイザー（mRNA）（オミクロン株対応 1 価ワクチン（XBB. 1. 5））※2	追加	5 歳以上 11 歳以下	1 回	前回接種完了から、3 か月以上の間隔
		小児用モデルナ（mRNA）（オミクロン株対応 1 価ワクチン（XBB. 1. 5））※2	追加	6 歳以上 11 歳以下	1 回	前回接種完了から、3 か月以上の間隔
		乳幼児用ファイザー（mRNA）	初回	生後 6 か月以上 4 歳以下	3 回	通常、3 週間の間隔をおいて 2 回、その後 8 週間以上の間隔をおいて 1 回
		乳幼児用ファイザー（mRNA）（オミクロン株対応 1 価ワクチン（XBB. 1. 5））※2	追加	生後 6 か月以上 4 歳以下	1 回	前回接種完了から、3 か月以上の間隔

実施方法 個別接種、集団接種

周知方法 市報、ホームページ、個別通知、SNS（LINE、X（旧ツイッター）、Facebook、TikTok）、動画チャンネル（手話動画を含む）、季刊むさしの、武蔵野安心・安全ニュース、つながり、関係団体への案内（民生児童委員、コミュニティ研究連絡会、在宅介護・地域包括支援センター連絡会議など）

- ※1 令和5年9月20日適用の追加接種以降の接種については、65歳以上の高齢者及び5歳以上の基礎疾患を有する者、その他重症化リスクが高いと医師が認める者以外のものについて、予防接種法第8条（接種勧奨）及び第9条（努力義務）の規定の適用を除外した。また12歳以上の方への追加接種では、初回接種で使用したワクチンの種類にかかわらず、ファイザー社製ワクチン、モデルナ社製ワクチン、第一三共社製ワクチン又は武田社（ノババックス）ワクチンを使用することとされている。令和6年3月31日をもって、特例臨時接種の終了。以降は、新型コロナウイルス感染症を予防接種法の「B類疾病」に位置づけた上で、法に基づく定期接種として秋から冬にかけて実施予定。
- ※2 令和4年9月20日適用の追加接種においては、オミクロン株対応2価ワクチンを使用していたが、令和5年9月20日適用の追加接種においては、基本的にファイザー社製、モデルナ社製ワクチン又は第一三共社製のオミクロン株対応1価ワクチン（XBB.1.5）を使用することとなった。
- ※3 令和5年9月20日適用の追加接種において、令和5年12月4日から12歳以上用第一三共社製のオミクロン株対応1価ワクチン（XBB.1.5）が追加される。市内では、令和6年1月10日から8医療機関で開始。
- ※4 令和5年12月25日をもって、市が確保している武田社製ワクチン（ノババックス）すべての有効期限が到来したため、供給終了となった。

予防接種実施結果（令和5年度）

種類					A 通知者数	B 実施者数 ※4	コロナ 対応数 ※5 (再掲)	予診 のみ	B／A 実施率 (%)	市内実施 医療機関 数	
定期接種	A類疾病	不活化ポリオ		初回	1回目	-	0	0	0	-	72
					2回目	-	0	0	0	-	
					3回目	-	0	0	0	-	
				追加		-	0	0	0	-	
				計		-	0	0	0	-	
		ジフテリア 百日せき 破傷風第1期 ※1		初回	1回目	-	0	0	0	-	
					2回目	-	0	0	0	-	
					3回目	-	0	0	0	-	
				追加		-	0	0	0	-	
				計		-	0	0	0	-	
		ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ 第1期		初回	1回目	1,022	1,080	0	0	105.7	
					2回目	1,022	1,100	0	2	107.6	
					3回目	1,022	1,106	0	1	108.2	
				追加		1,022	1,048	0	1	102.5	
				計		4,088	4,334	0	4	106.0	

保 健 衛 生

種類					A 通知者数	B 実施者数 ※4	コロナ 対応数 ※5 (再掲)	予診 のみ	B／A 実施率 (%)	市内実施 医療機関 数	
定期接種	A類疾病	ジフテリア 破傷風第2期	二種混合		1,225	988	14	2	80.7	72	
		麻しん風しん	第1期		1,093	1,067	1	1	97.6		
			第2期		1,146	1,086	11	3	94.8		
			計		2,239	2,153	12	4	96.2		
		風しん 追加的対策	緊急風しん抗体検査		14,040	441	－	－	3.1	81 ※6	
			第5期（MR）		－	76	－	－	－		
		日本脳炎 ※2	第1期	初回	1回目	994	1,059	10	2	106.5	72
					2回目	994	1,036	12	0	104.2	
				追加	994	1,010	28	2	101.6		
			第2期		1,288	1,416	30	2	110.0		
			計		4,270	4,521	80	6	105.9		
		H i b感染症	初回	1回目	956	998	0	0	104.4		
				2回目	956	1,010	0	0	105.7		
				3回目	956	994	0	3	104.0		
			追加		956	1,059	1	1	110.8		
			計		3,824	4,061	1	4	106.2		
		小児用 肺炎球菌	初回	1回目	1,022	998	0	0	97.7		
				2回目	1,022	1,009	0	0	98.7		
				3回目	1,022	997	0	3	97.6		
			追加		1,022	1,055	0	1	103.2		
			計		4,088	4,059	0	4	99.3		
		水痘	1回目		1,093	1,076	2	1	98.4		
			2回目		1,093	1,004	6	2	91.9		
			計		2,186	2,080	8	3	95.2		
		B型肝炎	1回目		1,022	993	0	0	97.2		
			2回目		1,022	1,003	0	0	98.1		
			3回目		1,022	1,017	2	2	99.5		
			計		3,066	3,013	2	2	98.3		
		ロタウイルス	1回目		1,022	985	－	0	96.4		
			2回目		1,022	992	－	0	97.1		
			3回目（5価ワクチンのみ）		1,022	510	－	5	－		
			計		3,066	2,487	－	5	－		
		子宮頸がん	小学6年から 高校1年 相当	1回目	545	449	－	0	－		
				2回目	545	286	－	0	－		
				3回目	545	157	－	0	－		

種類					A 通知者数	B 実施者数 ※4	コロナ 対応数 ※5 (再掲)	予診 のみ	B／A 実施率 (%)	市内実施 医療機関 数
定期 接種	A 類 疾 病	子宮頸がん	キャッチア ップ接種 ※3	1 回目	－	391	－	0	－	
				2 回目	－	335	－	1	－	
				3 回目	－	299	－	0	－	
			計		1,635	1,917	－	1	－	
	B 類 疾 病	高齢者インフ ルエンザ	65 歳以上		33,842	18,643	－	0	55.1	112
			60 歳から 65 歳未満障害者		－	13	－	0	－	
			計		－	18,656	－	0	－	
		高齢者 肺炎球菌	65 歳以上		5,271	1,193	－	1	22.6	90
			60 歳から 65 歳未満障害者		－	0	－	0	－	
			計		－	1,193	－	1	－	
任意 接種	麻疹風しん	行政措置		－	48	－	0	－	54	
	先天性風しん 症候群対策	風しん抗体検査		－	414	－	－	－	85	
		麻疹風しん		－	254	－	－	－		
		風しん		－	13	－	－	－		
	おたふくかぜ			－	1,324	13	1	－	43	
	帯状疱疹	生ワクチン		65,679	899	－	－	－	67	
		不活化ワクチン			6,357	－	－	－	86	

※1 平成26年12月に三種混合ワクチンの販売が中止になったことに伴い、平成28年7月15日をもって、国内に存在するすべての三種混合ワクチンが有効期限切れとなった。定期接種の対象者で、まだ接種が完了していない場合は、四種混合に切り替えて接種することとされていた。平成29年1月に販売が再開された。

※2 厚生労働省勧告により平成17年5月30日から積極的勧奨を差し控えていたが、平成22年4月1日から第1期初回の積極的勧奨が再開された。平成23年5月20日から、平成17年から平成21年にかけて接種機会を逸した方も、日本脳炎第1期、第2期末接種分の予防接種が受けられる特例が設けられている。

※3 厚生労働省勧告により平成25年6月14日から積極的勧奨を差し控えていたが、令和3年11月26日より積極的勧奨が再開された。それに伴い、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの間、平成9年4月2日から平成20年4月1日生まれの方も、子宮頸がん未接種分の予防接種が受けられるキャッチアップ接種を実施している。

※4 対象年齢の幅が広いものについては、通知年度内に接種が終了しないため、翌年度以降の実施者数に計上される。

※5 実施者数のうち、予防接種法施行令第1条の3第2項に基づき、新型コロナウイルス感染症の発生により、やむを得ず接種を控え、接種機会を逸失した者に対する接種を定期接種として取り扱った数。おたふくかぜ予防接種について、同様の事由で接種機会を逸失した者に対して任意接種の助成を行った数。

※6 風しん追加的対策における抗体検査および第5期予防接種については、全国の指定医療機関で実施している。

保 健 衛 生

特例臨時接種期間における新型コロナワクチン接種実績

＜令和6年7月2日時点＞

		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
65歳以上	接種者数(人)	34,298	34,130	32,541	29,893	25,870	20,407	15,484
	接種率(%)	99.3	98.8	94.2	86.5	74.9	59.1	44.8
12～64歳	接種者数(人)	84,591	84,186	68,642	36,524	14,365	4,652	1,837
	接種率(%)	84.0	83.6	68.1	36.2	14.3	4.6	1.8
5～11歳	接種者数(人)	2,256	2,218	1,099	429	184	5	－
	接種率(%)	26.2	25.7	12.7	5.0	2.1	0.1	－
6か月～4歳	接種者数(人)	413	405	330	112	－	－	－
	接種率(%)	8.8	8.6	7.0	2.4	－	－	－
合計	接種者数(人)	121,558	120,939	102,612	66,958	40,419	25,064	17,321

※接種率：令和5年4月1日現在、住民基本台帳に登録のある市民について、令和5年度末の年齢による人口数を健康情報システムから抽出し算出

※令和6年3月31日をもって特例臨時接種期間における新型コロナワクチン接種は終了したため、特例臨時接種期間中のすべての実績を記載

(健康課)

2. 結核予防事業

感染症法に基づき、市民を対象とした若年層胸部検診を実施し結核の早期発見に努めるとともに、予防接種法に基づき、1歳に至るまでの乳幼児を対象としたBCG接種を行っている。毎月2回保健センターにて集団接種を実施していたが、平成28年度から個別医療機関での接種を併用して開始し、平成29年度からは完全個別化した。

(1) 予防接種（BCG）

- ・対象者 1歳に至るまでの乳幼児
- ・実施方法 個別接種
- ・周知方法 個別通知、市報、健康だより、ホームページ

年度別実施結果

人数 \ 年度	元(31)	2	3	4	5
通知者数	1,138	1,092	1,122	1,108	1,013
BCG実施者数※	1,153	1,088(1)	1,083(4)	1,090(4)	995

※通知年度内に接種が終了しない場合は、翌年度以降の実施者数に計上される。

※実施者数のうち、令和2、3及び4年度の()内は、予防接種法施行令第1条の3第2項に基づき、新型コロナウイルス感染症の発生により、やむを得ず接種を控え、接種機会を逸失した者に対する接種を定期接種として取り扱った数。

(2) 若年層胸部検診

- ・対象者 16歳～39歳の市民（令和6年3月末時点）
※令和4年度に対象年齢を15歳以上から16歳以上に変更した。
- ・実施方法 （公財）武蔵野健康づくり事業団に委託
- ・周知方法 市報、健康だより、ホームページ
- ・実施時期 通年

年齢別・性別受診内訳（令和5年度）

男性

区分 年齢	受診者数	特になし	経過観察	要精検	精密検査結果			
					異常なし	がん以外の疾患	がんであった者	不明
16～19	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	0	0	0	0	0	0

女性

区分 年齢	受診者数	特になし	経過観察	要精検	精密検査結果			
					異常なし	がん以外の疾患	がんであった者	不明
16～19	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	1	1	0	0	0	0	0	0
25～29	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	2	2	0	0	0	0	0	0
合計	3	3	0	0	0	0	0	0

年度別受診者数

区分	年度	元(31)	2	3	4	5
受診者数		12	5	4	1	4
要精密検査者数		0	0	0	0	0

(健康課)

3. 老成人保健事業

平成20年度に「老人保健法」が廃止され、「高齢者の医療の確保に関する法律」及び「健康増進法」の事業に再編された。これらの法の趣旨に従い、健康の増進を図るため、原則として40歳以上の市民に対して、各種の保健サービスを実施している。

保 健 衛 生

(1) 健康手帳の交付

各種健康講座や健康診査の結果を記録し、自らの健康管理・健康保持に役立て、また適切な医療の確保に資するために交付している。

・交付対象者 40歳以上の希望する者

交付数（令和5年度）

交付場所	交付数
健康課	2
吉祥寺市政センター	0
武蔵境市政センター	1
中央市政センター	1
合計	4

(2) 健康教育

生活習慣病の予防と健康増進に関する正しい知識の普及を図るために実施している。

・周知方法 市報、ホームページ、チラシ、ポスター、SNS（Facebook、X（旧ツイッター）、LINE）

健康講座（令和5年度）

	開催日	講座名	講師	参加人数
1	6月24日（土）	あなたの骨！弱っていませんか？	大久保幸美氏（保健師）	29
2	7月13日（木）	「歯ぐきから血」は年のせい！？ 手入れで差がつくお口の健康	江澤庸博氏（武蔵野市歯 科医師会会員）	17
3	9月9日（土）	40歳から始めたい！食事で変わる太りに くい体のつくり方	鈴木明子氏（管理栄養 士・健康運動指導士）	47
4	10月6日（金）	あなたの骨！弱っていませんか？	中村久美子氏（保健師）	42
5	12月5日（火）	若いうちから定期歯科健診を！ 大事なワケとは・・・	佐久間琢氏（武蔵野市歯 科医師会会員）	6
6	2月17日（土）	美しさは食事から 健康美を手に入れる！	竹内ひろみ氏（管理栄養 士）	47
合計				188

男女別受講者内訳（令和5年度）

年齢	29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60 ～ 64	65 ～ 69	70 ～ 74	75 ～ 79	80 ～ 84	85 ～	不明	計
男	0	0	0	0	1	0	1	2	2	1	4	2	2	0	15
女	1	0	3	13	17	12	22	23	23	23	20	12	4	0	173
計	1	0	3	13	18	12	23	25	25	24	24	14	6	0	188

年度別受講者数

年度	元(31)	2	3	4	5
回数	2	4	6	6	6
人数	68	67	147	151	188

(3) 健康相談

市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導および助言を行い、家庭における健康管理に役立てる。

- ・実施方法 医師、歯科医師、保健師、管理栄養士等相談担当者による個別相談
- ・周知方法 市報、健康だより、チラシ、ホームページ

年度別相談者数

相談名 \ 年度	元(31)	2	3	4	5
健康なんでも相談	1,985	1,293	1,241	1,293	978
健康相談	37	43	36	32	40
歯科健康相談	12	16	33	21	12
合計	2,034	1,352	1,310	1,346	1,030

相談内容（令和5年度）

健康なんでも相談	内容					計
	母子	老・成人	精神	感染症	その他	
面接	47	21	4	0	1	73
電話	624	159	49	3	28	863
メール・文書	12	0	30	0	0	42
合計	683	180	83	3	29	978

健康相談	男	女	計
	16	24	40
内容	高血圧		4
	脂質異常症		13
	糖尿病		7
	歯周疾患		0
	骨粗鬆症		0
	女性の健康		0
	病態別	肥満	1
		心臓病	0
		じん臓病	1
その他		24	

保 健 衛 生

歯科健康相談		男	女	計
		1	11	12
内容	歯の健診について	0		12
	歯周病について	1		
	噛み合わせについて	1		
	歯の治療について	5		
	入れ歯について	1		
	むし歯について	0		
	その他について	2		
	矯正について	2		

(4) 特定健康診査、後期高齢者医療健康診査、生活保護受給者の健康診査

平成 20 年度より健康診査に関する法律が再編され、特定健康診査の実施が各医療保険者に義務付けられた。特定健康診査では、生活習慣病を発症する原因となる可能性の高いメタボリックシンドロームの該当者及び予備群を発見することを目的とする。

各市町村による健康診査の実施は、75 歳以上の後期高齢者医療制度加入者に関しては、努力義務とされ、医療保険未加入者（生活保護受給者）に関しては、法律再編前に引き続き実施することとされた。

武蔵野市では、健診項目について平成 19 年度までの基本健康診査から大きな変動がないように配慮し対象者ごとに以下の健康診査を一体的に実施した。

①40 歳以上の武蔵野市国民健康保険加入者の特定健康診査：保険年金課より執行委任

②後期高齢者医療制度加入者の健康診査（東京都後期高齢者医療広域連合からの受託事業）

：保険年金課より執行委任

③40 歳以上の生活保護受給者の健康診査

④武蔵野市国民健康保険以外の医療保険加入者に対する特定健康診査以外の独自健診項目（集合契約分に限る）

・実施方法 武蔵野市医師会に委託

・案内方法 ①市国保加入者及び②後期高齢者医療制度加入者：全員に個別通知

③生活保護受給者及び④その他の医療保険加入者：申込による

・実施期間 6 月～2 月（ただし④その他の医療保険加入者は3 月まで）

【年度別実施結果】

40～74 歳

年度 実施結果	元(31)	2	3	4	5
所見なし	926	753	765	783	783
要観察	3,238	2,697	2,813	2,842	2,726
要医療	7,083	6,320	6,323	5,919	5,453
合計	11,247	9,770	9,901	9,544	8,962

75 歳以上

実施結果 \ 年度	元(31)	2	3	4	5
所見なし	193	169	175	196	202
要観察	1,418	1,373	1,365	1,484	1,444
要医療	8,010	7,363	7,429	7,630	7,805
合計	9,621	8,905	8,969	9,310	9,451

【健診種別実施結果】

①武蔵野市国民健康保険加入者の特定健康診査

実施結果 \ 年度	元(31)	2	3	4	5
所見なし	859	682	709	730	720
要観察	3,054	2,523	2,673	2,708	2,612
要医療	6,889	6,120	6,210	5,910	5,349
合計	10,802	9,325	9,592	9,348	8,681

②後期高齢者医療制度加入者の健康診査

実施結果 \ 年度	元(31)	2	3	4	5
所見なし	176	162	165	178	185
要観察	1,372	1,314	1,289	1,403	1,371
要医療	7,696	7,100	7,063	7,188	7,479
合計	9,244	8,576	8,517	8,769	9,035

③生活保護受給者の健康診査

実施結果 \ 年度	元(31)	2	3	4	5
所見なし	8	6	11	10	15
要観察	35	40	39	42	33
要医療	223	194	199	185	177
合計	266	240	249	237	225

④集合契約分の健康診査

実施結果 \ 年度	元(31)	2	3	4	5
所見なし	76	72	55	61	65
要観察	195	193	177	173	154
要医療	285	269	280	266	253
合計	556	534	512	500	472

保 健 衛 生

(5) 若年層健康診査

より若い年代のうちから生活習慣病対策をするきっかけとしてもらうため、特定健康診査の対象となる前の年齢の市民に対して実施。令和２年度に、対象年齢を拡大し、15歳以上とした。令和４年度に、対象年齢を16歳以上とした。

- ・対象者 16～39歳の市民（令和元年度までは30～39歳、令和２年度・３年度は15～39歳の市民）
- ・実施方法 武蔵野市医師会に委託、４月～２月
- ・周知方法 市報、健康だより、ポスター、ホームページ

年度別実施結果

実施結果 \ 年度	元(31)	2	3	4	5
所見なし	487	298	459	458	414
要観察	298	189	310	310	271
要医療	139	105	145	143	156
合計	924	592	914	911	841

年齢階層別健康診査受診者数（令和５年度）

区分 \ 年齢	対象年齢人口 (令和５年４月１日)			受 診 者 数			対象年齢人口に対する受診率 (%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
16～19	2,263	2,298	4,561	9	9	18	0.40	0.39	0.39
20～24	3,940	4,098	8,038	25	21	46	0.63	0.51	0.57
25～29	4,866	4,965	9,831	37	73	110	0.76	1.47	1.12
30～34	4,898	4,924	9,822	95	199	294	1.94	4.04	2.99
35～39	5,348	5,301	10,649	119	254	373	2.23	4.79	3.50
小計	21,315	21,586	42,901	285	556	841	1.34	2.58	1.96
40～44	5,515	5,771	11,286	185	299	484	3.35	5.18	4.29
45～49	5,739	6,049	11,788	236	363	599	4.11	6.00	5.08
50～54	5,721	6,104	11,825	308	433	741	5.38	7.09	6.27
55～59	4,963	5,136	10,099	299	549	848	6.02	10.69	8.40
60～64	4,148	4,260	8,408	456	758	1,214	10.99	17.79	14.44
65～69	3,216	3,640	6,856	715	1,259	1,974	22.23	34.59	28.79
70～74	3,568	4,049	7,617	1,252	1,850	3,102	35.09	45.69	40.72
小計	32,870	35,009	67,879	3,451	5,511	8,962	10.50	15.74	13.20
75～79	2,891	3,779	6,670	1,513	2,220	3,733	52.33	58.75	55.97
80～84	2,046	3,046	5,092	1,167	1,780	2,947	57.04	58.44	57.88
85～89	1,392	2,541	3,933	720	1,081	1,801	51.72	42.54	45.79
90歳以上	786	2,209	2,995	313	657	970	39.82	29.74	32.39
小計	7,115	11,575	18,690	3,713	5,738	9,451	52.19	49.57	50.57
合計	61,300	68,170	129,470	7,449	11,805	19,254	12.15	17.32	14.87

(6) 特定保健指導

特定健康診査を実施した結果、生活習慣病リスクが出現し始めた対象者に対し、リスクに応じて生活習慣改善に向けた支援を行った。（保険年金課より執行委任）

- ・対象者 武蔵野市国民健康保険加入者のうち、特定健康診査に基づく階層化の結果、保健指導の必要ありとされた者
- ・実施方法 （公財）武蔵野健康づくり事業団に委託
- ・案内方法 対象者を優先順位付けし、上位の者から個別通知

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により対象者の中に一部令和元年度対象者も含む。

特定保健指導実施状況

年度	動機付け支援			積極的支援		
	対象者	初回面談 実施人数	初回面談 実施率 (%)	対象者	初回面談 実施人数	初回面談 実施率 (%)
元(31)	605	77	12.7	158	19	12.0
2	896	102	11.4	239	26	10.9
3	693	104	15.0	205	30	14.6
4	653	94	14.4	215	39	18.1
5	592	110	18.6	170	23	13.5

(7) 若年層保健指導

若年層健康診査を実施した結果、生活習慣改善を要すると判断されたものに対し、健康教育として個別に情報提供資料を送付し、啓発を行った。

- ・対象者 若年層健康診査受診者のうち、メタボリックシンドローム判定で基準該当、予備群該当した者（令和2年度は30～39歳のメタボリックシンドローム基準及び予備軍該当の者とした）
- ・実施方法 令和2年度のみ（公財）武蔵野健康づくり事業団に委託
令和3年度より健康課より資料送付

若年層保健指導実施状況

年度	2	3	4	5
対象者	39	60	54	78

(8) 眼科健康診査

平成19年度までは基本健康診査の健診項目の一部として実施していた眼科健康診査を、平成20年度に40歳以上の市民であれば自己負担金500円で誰でも受診できる独立した検査とした。

- ・対象者 40歳以上の市民
- ・実施方法 武蔵野市医師会に委託
- ・実施期間 6月～3月
- ・案内方法 市の健康診査受診者：健診実施機関窓口で受診票を交付
上記以外：全員に個別通知

保 健 衛 生

年度別実施結果

実施結果 \ 年度	元(31)	2	3	4	5
所見なし	4,372	3,900	4,183	4,280	4,203
要観察	10,210	8,920	9,101	9,488	9,307
要医療	2,758	2,441	2,431	2,435	2,428
合計	17,340	15,261	15,715	16,203	15,938

(9) 胃がんハイリスク検査

胃がんハイリスク検査は、血液検査によりピロリ菌感染の有無と胃粘膜の萎縮度を調べ、両者の値の組み合わせで将来の胃がん発症のリスクを判定する検査法。平成27年度の6月から個別を、9月から集団検査を開始した。令和元年度をもって事業を終了した。

- ・対象者 市民 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳
- ・実施方法 (公財) 武蔵野健康づくり事業団に委託(集団)、健康診査と同時実施(個別)
- ・周知方法 市報、健康だより、ホームページ

胃がんハイリスク検査年度別受診者数

年度 \ 区分	受診者		
	個別	集団	計
元(31)	1,804	60	1,864

(10) 胃がん検診

がんの中で多いと言われる胃がんは、早期に発見し治療に結びつけることが予防上大変重要な課題である。このため胃がんの検診を実施し、がんの予防と正しい知識の普及に努めている。

① 胃がんエックス線検診

- ・対象者 35歳以上の市民(令和6年3月31日時点)で前年度に市の胃がん内視鏡検診を受診していない者
- ・実施方法 集団方式((公財)武蔵野健康づくり事業団に委託)
※胃がんエックス線・肺がんセット検診、40歳からの女性のためのがん検診(乳がん・胃がんエックス線・肺がんセット検診)又は胃がんエックス線検診単独
- ・実施内容 問診、胃部エックス線検査
- ・周知方法 市報、健康だより、勧奨通知、ホームページ
- ・実施時期 通年

② 胃がん内視鏡検診

- ・対象者 50歳以上の市民(令和6年3月31日時点)で前年度に市の胃がん内視鏡検診を受診していない者
- ・実施方法 個別方式(武蔵野市医師会に委託)
- ・実施内容 問診、胃内視鏡検査
- ・周知方法 市報、健康だより、勧奨通知、ホームページ
- ・実施時期 6月～2月

※令和2年度から個別方式で胃がん内視鏡検診を開始。

年度別受診者数

区分 年度	①胃がんエックス線検診			②胃がん内視鏡検診		
	対象年齢人口	受診者数	受診割合	対象年齢人口	受診者数	受診割合
元(31)	94,845	879	0.9	－	－	－
2	96,408	667	0.7	61,438	418	0.7
3	97,020	861	0.9	62,542	691	1.1
4	97,218	751	0.8	63,495	975	1.5
5	97,247	710	0.7	64,353	852	1.3

年度別受診内訳

区分 年度	①胃がんエックス線検診		②胃がん内視鏡検診	
	要精検者	要精検率	要精検者	要精検率
元(31)	29	3.3	－	－
2	11	1.6	58	13.9
3	22	2.6	71	10.3
4	31	4.1	102	10.5
5	35	4.9	81	9.5

※都に報告する数値は50歳以上の者であるため、胃がんエックス線検診については、令和5年度の受診者数は506人、要精検者数は28人、要精検率は5.5%である。

※都に報告する受診率の算出方法は、（前年度受診者数＋当該年度受診者数－2年連続受診者数）／対象者数×100（対象者数＝50歳以上の人口×対象人口率（51.3%））である。胃がんエックス線検診・内視鏡検診を合わせた胃がん検診全体の令和5年度の受診率は、8.0%である。

年齢別・性別受診内訳（令和5年度・①胃がんエックス線検診）

男性

区分 年齢	受診者	精検不要	要精検
35～39	16	16	0
40～44	20	19	1
45～49	25	23	2
50～54	11	11	0
55～59	12	12	0
60～64	154	142	12
65～69	17	16	1
70～74	7	6	1
75～79	8	7	1
80歳以上	5	5	0
計	275	257	18

保 健 衛 生

女性

区分 年齢	受診者	精検不要	要精検
35～39	18	18	0
40～44	69	66	3
45～49	56	55	1
50～54	47	47	0
55～59	55	54	1
60～64	146	138	8
65～69	17	16	1
70～74	15	15	0
75～79	8	6	2
80 歳以上	4	3	1
計	435	418	17

年齢別・性別受診内訳（令和５年度・②胃がん内視鏡検診）

男性

区分 年齢	受診者	要精検	生検実施		
			生検実施	要再検査	生検未実施 うち要再検査
50～54	57	4	4	0	0
55～59	37	2	2	0	0
60～64	27	0	0	0	0
65～69	156	12	11	0	1
70～74	49	9	9	0	0
75～79	24	7	6	0	1
80 歳以上	17	2	2	0	0
計	367	36	34	0	2

女性

区分 年齢	受診者	要精検	生検実施		
			生検実施	要再検査	生検未実施 うち要再検査
50～54	120	5	4	0	1
55～59	47	3	3	0	0
60～64	45	0	0	0	0
65～69	190	29	27	0	2
70～74	54	3	3	0	0
75～79	22	3	3	0	0
80 歳以上	7	2	2	1	0
計	485	45	42	1	3

精密検査結果（令和５年度に追跡調査を実施した、令和４年度の結果・①胃がんエックス線検診）

男性

区分 年齢	要精検者	異常を 認めず	がんで あった者	がん疑い 又は 未確定	がん以外 の疾患	不明
35～39	0	0	0	0	0	0
40～44	0	0	0	0	0	0
45～49	0	0	0	0	0	0
50～54	1	0	0	0	1	0
55～59	2	0	0	0	2	0
60～64	4	2	0	0	2	0
65～69	1	1	0	0	0	0
70～74	1	1	0	0	0	0
75～79	0	0	0	0	0	0
80歳以上	2	0	0	0	2	0
計	11	4	0	0	7	0

女性

区分 年齢	要精検者	異常を 認めず	がんで あった者	がん疑い 又は 未確定	がん以外 の疾患	不明
35～39	1	0	0	0	0	1
40～44	1	0	0	0	1	0
45～49	1	0	0	0	0	1
50～54	3	0	0	0	2	1
55～59	1	1	0	0	0	0
60～64	10	2	0	0	7	1
65～69	1	0	0	0	1	0
70～74	1	1	0	0	0	0
75～79	0	0	0	0	0	0
80歳以上	1	1	0	0	0	0
計	20	5	0	0	11	4

保 健 衛 生

精密検査結果（令和５年度に追跡調査を実施した、令和４年度の結果・②胃がん内視鏡検診）
男性

区分 年齢	要精検者	異常を 認めず	がんで あった者	がん疑い 又は 未確定	がん以外 の疾患	不明
50～54	7	6	0	0	1	0
55～59	0	0	0	0	0	0
60～64	5	2	0	0	3	0
65～69	18	14	2	0	2	0
70～74	6	5	0	0	1	0
75～79	3	3	0	0	0	0
80歳以上	0	0	0	0	0	0
計	39	30	2	0	7	0

女性

区分 年齢	要精検者	異常を 認めず	がんで あった者	がん疑い 又は 未確定	がん以外 の疾患	不明
50～54	12	9	1	0	2	0
55～59	5	4	0	0	1	0
60～64	6	5	0	0	1	0
65～69	24	16	3	1	4	0
70～74	7	4	0	0	3	0
75～79	7	6	0	0	1	0
80歳以上	2	2	0	0	0	0
計	63	46	4	1	12	0

(11)乳がん検診

①乳がん検診

生活様式、食生活の欧米化に伴い、増加の傾向にある乳がんの検診を実施し、がんを早期発見することにより早期治療を促し、女性の健康の保持向上に寄与することを目的とする。

- ・対象者 40歳以上の女性市民（令和６年３月末時点）で前年度に市の乳がん検診を受診していない者
- ・実施方法 集団方式（（公財）武蔵野健康づくり事業団に委託）
※40歳からの女性のためのがん検診（乳がん・胃がんエックス線・肺がんセット検診）
個別方式（武蔵野市医師会に委託）
- ・実施内容 問診、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）
※平成22年度から偶数年齢、奇数年齢の受診区分を廃止
※平成24年度から国の指針に合わせ視触診単独検診を廃止し、2年に1回の検診に変更
※平成28年度から視触診を廃止
※令和元年度から申込制を廃止し、対象者全員に受診券シールを送付
※令和元年度から集団方式で40歳からの女性のためのがん検診（乳がん・胃がんエックス線・肺がんセット検診）を開始
- ・周知方法 市報、健康だより、勧奨通知、ホームページ
- ・実施時期 6月～2月

②新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業

従来実施する乳がん検診において、特定の条件に該当する女性に対して、検診手帳及びがん検診無料クーポン券を送付し、受診促進を図る。

- ・基準日 4月20日
- ・対象者 前年度40歳に達した女性市民
- ・実施方法 集団方式（（公財）武蔵野健康づくり事業団に委託）
※40歳からの女性のためのがん検診（乳がん・胃がんエックス線・肺がんセット検診）
個別方式（武蔵野市医師会に委託）
- ・実施内容 問診、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）
- ・周知方法 市報、ホームページ、対象者にクーポン券・検診手帳・受診案内を直接送付
- ・実施時期 6月～2月

年度別受診者数

区分 年度	対象年齢人口	受診者数	受診割合
元(31)	44,931 (1,224)	4,431 (225)	9.9 (18.4)
2	45,913 (1,153)	3,490 (148)	7.6 (12.8)
3	46,293 (1,152)	4,159 (199)	9.0 (17.3)
4	46,584 (1,157)	3,721 (179)	8.0 (15.5)
5	46,840 (1,101)	3,962 (160)	8.5 (14.5)

※カッコ内は、新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業対象者（内数）

※都に報告する受診率の算出方法は、（前年度受診者数＋当該年度受診者数－2年連続受診者数）／対象者数×100（対象者数＝40歳以上の人口（女性）×対象人口率（64.1%））である。令和5年度の受診率は、25.4%である。

年度別受診内容

区分 年度	受診者数			要精検者数			要精検率
	集団	個別	計	集団	個別	計	
元(31)	38	4,393	4,431	2	316	318	7.2
2	166	3,324	3,490	12	182	194	5.6
3	165	3,994	4,159	6	187	193	4.6
4	134	3,587	3,721	9	185	194	5.2
5	141	3,821	3,962	13	221	234	5.9

※令和元年度から集団方式で40歳からの女性のためのがん検診（乳がん・胃がんエックス線・肺がんセット検診）を開始。

保 健 衛 生

年齢別受診内訳（令和５年度）

区分 年齢	受診者	精検不要	要精検
40～44	601	567	34
45～49	561	521	40
50～54	519	479	40
55～59	471	445	26
60～64	438	420	18
65～69	398	378	20
70～74	393	371	22
75～79	310	289	21
80歳以上	271	258	13
計	3,962	3,728	234

精密検査結果（令和５年度に追跡調査を実施した、令和４年度の結果）

区分 年齢	要精検者	異常を 認めず	がんで あった者	がん疑い 又は 未確定	がん以外 の 疾患	不明
40～44	29	5	2	3	15	4
45～49	27	6	1	3	15	2
50～54	32	5	1	5	16	5
55～59	18	7	1	0	8	2
60～64	19	7	0	0	9	3
65～69	23	7	3	1	10	2
70～74	19	6	3	2	8	0
75～79	14	8	1	0	4	1
80歳以上	13	3	3	1	4	2
計	194	54	15	15	89	21

（12）子宮（頸部・体部）がん検診

子宮（頸部・体部）がんの検診を実施し、がんを早期に発見することにより早期治療を促し、女性の健康の保持向上に寄与することを目的とする。

- ・対象者 20歳以上の女性市民（令和６年３月末時点）で前年度に市の子宮がん検診を受診していない者
- ・実施方法 個別方式（武蔵野市医師会に委託）
- ・実施内容 ①問診・視診・内診・細胞採取：武蔵野市医師会に委託
②細胞診判定・HPV-DNA検査：（株）LSIメディエンスに委託
※平成２２年度から国の指針に合わせ２年に１回の検診に変更
※平成２７年度から、液状検体法及びHPV-DNA検査を導入
- ・周知方法 市報、健康だより、勧奨通知、ホームページ
- ・実施時期 ６月～１月
- ・その他 原則子宮頸部の検診だが、症状があり、検査に同意した者には子宮体部の検診も実施

年度別受診者数

区分 年度	対象年齢人口	受診者数	受診割合
元(31)	65,408	7,710	11.8
2	65,965	6,934	10.5
3	65,977	8,042	12.2
4	65,872	6,863	10.4
5	65,932	7,452	11.3

※都に報告する受診率の算出方法は、（前年度受診者数＋当該年度受診者数－2年連続受診者数）／対象者数
 ×100（対象者数＝20歳以上の人口（女性）×対象人口率（59.9%））である。令和5年度の受診率は、
 36.2%である。

年度別受診内訳

区分 年度	受診者数	要精検者数	要精検率
元(31)	頸がん 7,710 体がん 1,808	頸がん 250 体がん 16	頸がん 3.2 体がん 0.9
2	頸がん 6,934 体がん 1,370	頸がん 270 体がん 14	頸がん 3.9 体がん 1.0
3	頸がん 8,042 体がん 1,727	頸がん 228 体がん 8	頸がん 2.8 体がん 0.5
4	頸がん 6,863 体がん 1,394	頸がん 207 体がん 11	頸がん 3.0 体がん 0.8
5	頸がん 7,452 体がん 1,653	頸がん 199 体がん 14	頸がん 2.7 体がん 0.8

年齢別受診内訳（令和5年度・子宮頸がん検診）

区分 年齢	受診者	精検不要	要精検
20～24	266	247	19
25～29	629	587	42
30～34	699	672	27
35～39	779	751	28
40～44	804	771	33
45～49	828	811	17
50～54	844	829	15
55～59	705	698	7
60～64	517	514	3
65～69	480	479	1
70～74	421	419	2
75～79	276	274	2
80歳以上	204	201	3
計	7,452	7,253	199

保 健 衛 生

精密検査結果（令和５年度に追跡調査を実施した、令和４年度の結果）

区分 年齢	要精検者	異常を 認めず	がんで あった者	AIS 又は CIN	がん疑い 又は 未確定	がん、 AIS、CIN 以外の 疾患	不明
20～24	21	0	0	10	7	0	4
25～29	47	4	0	22	14	0	7
30～34	27	7	0	12	4	0	4
35～39	32	2	1	21	6	0	2
40～44	24	1	0	14	5	0	4
45～49	23	2	1	11	6	0	3
50～54	17	0	0	8	8	0	1
55～59	6	0	1	0	4	0	1
60～64	2	1	0	0	0	0	1
65～69	3	1	0	2	0	0	0
70～74	0	0	0	0	0	0	0
75～79	1	0	0	1	0	0	0
80歳以上	4	0	1	1	0	0	2
計	207	18	4	102	54	0	29

(13)肺がん検診

肺がんは、死亡率が高く、罹患者は今後も増加する傾向と予測される。このため、肺がんの検診を実施し、肺がんの早期発見、早期治療および正しい知識の普及に努めている。

- ・対象者 40歳以上の市民（令和６年３月末時点）
- ・実施方法 集団方式（（公財）武蔵野健康づくり事業団に委託）
※胃がんエックス線・肺がんセット検診、40歳からの女性のためのがん検診（乳がん・胃がんエックス線・肺がんセット検診）
個別方式（武蔵野市医師会に委託）
※令和元年度から個別方式を開始
- ・実施内容 問診、胸部エックス線検査、喀痰細胞診
- ・周知方法 市報、健康だより、勧奨通知、ホームページ
- ・実施時期 通年

年度別受診者数

区分 年度	対象年齢人口	受診者	受診割合
元(31)	83,453	1,283	1.5
2	85,356	1,202	1.4
3	86,063	1,521	1.8
4	86,569	1,342	1.6
5	87,054	1,268	1.5

※都に報告する受診率の算出方法は、当該年度受診者数／対象者数×100（対象者数＝40歳以上の人口×対象人口率〈55.6%〉）である。令和５年度の受診率は、2.6%である。

年度別受診内訳

区分 年度	受診者数			要精検者数			要精検率
	集団	個別	計	集団	個別	計	
元(31)	695	588	1,283	10	35	45	3.5
2	513	689	1,202	9	19	28	2.3
3	694	827	1,521	10	33	43	2.8
4	631	711	1,342	9	20	29	2.2
5	565	703	1,268	9	11	20	1.6

年度別受診内訳（検査項目別）

区分 年度	胸部エックス線検査 及び喀痰細胞診		胸部エックス線検査のみ		合計
	男	女	男	女	
元(31)	174	27	512	570	1,283
2	165	10	396	631	1,202
3	153	17	573	778	1,521
4	92	9	512	729	1,342
5	69	7	472	720	1,268

年齢別・性別受診内訳（令和5年度）

男性

区分 年齢	受診者	特になし	経過観察	要精密検査	判定不能
40～44	74	70	1	3	0
45～49	24	22	2	0	0
50～54	18	16	2	0	0
55～59	60	49	9	2	0
60～64	178	138	29	11	0
65～69	114	78	32	4	0
70～74	31	20	7	4	0
75～79	23	11	10	2	0
80歳以上	19	14	3	2	0
計	541	418	95	28	0

※「要精密検査」は、肺がん以外の疑いも含まれている。

保 健 衛 生

女性

区分 年齢	受診者	特になし	経過観察	要精密検査	判定不能
40～44	161	149	10	2	0
45～49	60	49	5	6	0
50～54	64	54	7	3	0
55～59	131	105	22	4	0
60～64	155	117	27	11	0
65～69	101	68	26	7	0
70～74	30	17	10	3	0
75～79	13	10	2	1	0
80歳以上	12	8	2	2	0
計	727	577	111	39	0

※「要精密検査」は、肺がん以外の疑いも含まれている。

精密検査結果（令和5年度に追跡調査を実施した、令和4年度の結果）

男性

区分 年齢	要精検者	異常を 認めず	がんで あった者	がん疑い 又は 未確定	がん以外 の疾患	不明
40～44	0	0	0	0	0	0
45～49	1	0	0	0	0	1
50～54	0	0	0	0	0	0
55～59	4	2	0	0	2	0
60～64	7	5	0	1	1	0
65～69	7	5	0	0	0	2
70～74	0	0	0	0	0	0
75～79	0	0	0	0	0	0
80歳以上	0	0	0	0	0	0
計	19	12	0	1	3	3

女性

区分 年齢	要精検者	異常を 認めず	がんで あった者	がん疑い 又は 未確定	がん以外 の 疾患	不明
40～44	2	2	0	0	0	0
45～49	1	0	0	0	1	0
50～54	1	1	0	0	0	0
55～59	1	0	0	0	1	0
60～64	0	0	0	0	0	0
65～69	2	1	0	0	1	0
70～74	1	1	0	0	0	0
75～79	1	1	0	0	0	0
80歳以上	1	0	0	0	0	1
計	10	6	0	0	3	1

(14) 大腸がん検診

大腸がんは、食事の欧米化等にもとない現在増加傾向にあり、今後も増加すると予測される。このため大腸がんの検診を実施し、早期発見、早期治療および正しい知識の普及に努めている。

- ・対象者 40歳以上の市民（令和6年3月末時点）
- ・実施方法 集団方式（（公財）武蔵野健康づくり事業団に委託、年2回実施）
個別方式（武蔵野市医師会に委託、健康診査と同時実施）
- ・実施内容 問診、便潜血検査（2日法）
- ・周知方法 市報、健康だより、勧奨通知、ホームページ
- ・実施時期 集団方式 10月・1月
個別方式 6月～3月

年度別受診者数

区分 年度	対象年齢人口	受診者			受診割合
		集団	個別	合計	
元(31)	83,453	418	19,460	19,878	23.8
2	85,356	613	17,481	18,094	21.2
3	86,063	545	17,607	18,152	21.1
4	86,569	492	16,934	17,426	20.1
5	87,054	542	16,543	17,085	19.6

※都に報告する受診率の算出方法は、当該年度受診者数／対象者数×100（対象者数＝40歳以上の人口×対象人口率〈56.2%〉）である。令和5年度の受診率は、34.9%である。

保 健 衛 生

年度別受診内訳

区分 年度	受診者数			要精検者数			要精検率
	集団	個別	計	集団	個別	計	
元(31)	418	19,460	19,878	16	1,485	1,501	7.6
2	613	17,481	18,094	27	1,295	1,322	7.3
3	545	17,607	18,152	25	1,179	1,204	6.6
4	492	16,934	17,426	16	1,040	1,056	6.1
5	542	16,543	17,085	14	1,014	1,028	6.0

年齢別・性別受診内訳（令和5年度）

男性

区分 年齢	受診者	精検不要	要精検
40～44	189	185	4
45～49	244	237	7
50～54	313	302	11
55～59	301	284	17
60～64	456	437	19
65～69	674	622	52
70～74	1,151	1,076	75
75～79	1,376	1,297	79
80歳以上	1,886	1,698	188
計	6,590	6,138	452

女性

区分 年齢	受診者	精検不要	要精検
40～44	334	317	17
45～49	389	365	24
50～54	474	462	12
55～59	572	553	19
60～64	778	747	31
65～69	1,188	1,142	46
70～74	1,729	1,653	76
75～79	2,039	1,942	97
80歳以上	2,992	2,738	254
計	10,495	9,919	576

精密検査結果（令和５年度に追跡調査を実施した、令和４年度の結果）

男性

区分 年齢	要精検者	異常を 認めず	がんで あった者	がん疑い 又は 未確定	腺腫の あった者	がん以外 の疾患	不明
40～44	5	1	1	0	1	0	2
45～49	9	1	0	1	2	1	4
50～54	11	2	1	0	3	1	4
55～59	25	3	0	0	13	0	9
60～64	29	3	0	0	14	3	9
65～69	36	9	2	1	9	1	14
70～74	83	4	5	1	33	7	33
75～79	128	14	4	1	43	4	62
80歳以上	189	19	4	2	42	6	116
計	515	56	17	6	160	23	253

女性

区分 年齢	要精検者	異常を 認めず	がんで あった者	がん疑い 又は 未確定	腺腫の あった者	がん以外 の疾患	不明
40～44	15	9	0	0	3	0	3
45～49	12	2	0	0	1	0	9
50～54	18	7	1	0	3	0	7
55～59	22	8	0	0	2	1	11
60～64	23	6	0	0	7	2	8
65～69	45	13	1	0	16	3	12
70～74	93	15	7	1	29	2	39
75～79	100	23	4	0	31	5	37
80歳以上	213	23	5	1	38	1	145
計	541	106	18	2	130	14	271

(15) 肝炎ウイルス検診

肝炎（ウイルス性肝炎）の持続感染者は、Ｂ型が110万人～120万人、Ｃ型が90万人～130万人存在すると推定されているが、感染時期が明確ではないことや自覚症状がないことが多いため、適切な時期に治療を受ける機会がなく、本人が気づかぬうちに肝硬変や肝がんへ移行する感染者が多いことが問題となっている。肝炎ウイルス検診を実施し、早期発見、早期治療及び正しい知識の普及に努めている。

- ・対象者 40歳以上の市民で過去に肝炎ウイルス検診を受診していない者
- ・実施方法 （公財）武蔵野健康づくり事業団に委託し単独実施、武蔵野市医師会に委託し健康診査と同時実施
- ・周知方法 市報、健康だより、ホームページ
- ・実施時期 通年

※令和２年度から（公財）武蔵野健康づくり事業団で実施する集団検診を個別検診に変更

保 健 衛 生

年齢別・性別受診内訳（令和5年度）

男性

年齢 \ 区分	受診者	B型		C型			
		陽性	陰性	①	②	③	④
40	35	1	34	0	0	0	35
41～44	49	0	49	0	0	0	49
45～49	40	0	40	0	0	1	39
50～54	27	0	27	0	0	0	27
55～59	22	0	22	1	0	0	21
60～64	69	1	68	0	0	0	69
65～69	98	0	98	1	0	2	95
70～74	77	0	77	0	0	0	77
75～79	78	1	77	0	0	1	77
80歳以上	45	0	45	0	0	2	43
合計	540	3	537	2	0	6	532

女性

年齢 \ 区分	受診者	B型		C型			
		陽性	陰性	①	②	③	④
40	44	0	44	0	0	0	44
41～44	70	0	70	0	0	0	70
45～49	77	0	77	0	0	0	77
50～54	70	0	70	0	0	0	70
55～59	60	0	60	0	0	0	60
60～64	84	0	84	0	0	0	84
65～69	102	0	102	0	0	1	101
70～74	64	1	63	0	0	0	64
75～79	63	2	61	0	0	1	62
80歳以上	42	0	42	0	0	0	42
合計	676	3	673	0	0	2	674

※受診者数は、B型もしくはC型どちらか一方のみの場合も含む。

※C型肝炎ウイルス検診の判定

①②…「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定

③④…「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定

肝炎ウイルス検診年度別受診者数

年度	区分	受診者		
		個別	集団	計
元(31)		1,293	15	1,308
2		1,112	－	1,112
3		1,302	－	1,302
4		1,349	－	1,349
5		1,216	－	1,216

(16)骨粗しょう症検診

高齢社会の到来により、骨折等の基礎疾患となる骨粗しょう症の増加が予想されることから、骨量減少者を早期発見し、その予防対策を指導することによって骨折の発症を未然に防ぐ。

- ・対象者 令和5年4月1日時点で20歳から70歳までの5歳きざみの年齢に達した女性市民
- ・実施方法 (公財)武蔵野健康づくり事業団に委託。年2回10日間、定員 700名
- ・実施事項 問診、骨塩定量検査、リーフレット等の配布
 ※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため、検診後に集団で行う健康教育・事後指導を実施せず、令和4年度に廃止
 ※令和2年度から問診時にリーフレット等を配布
 ※令和2年度からリーフレットや紹介状を結果票送付時に同封し、健康講座の受講勧奨や精密検査受診を指導
- ・周知方法 市報、健康だより、勧奨通知、ホームページ、SNS (FACEBOOK・X (旧ツイッター)・LINE)

年度別検診実施結果

年度	区分	受診者	異常なし	要予防者	要精検者
元(31)		326	114	140	72
2		512	203	204	105
3		586	263	208	115
4		663	300	245	118
5		694	295	289	110

年度別事後指導結果

年度	内訳	異常なし (希望者)		要予防 (希望者)		要精検者		合計	
		対象者	出席者	対象者	出席者	対象者	出席者	対象者	出席者
元(31)		114	2	140	28	72	52	326	82

(健康課)

保 健 衛 生

4. 母子保健事業

母性及び乳幼児の健康保持並びに増進を図ることを目的とした母子保健法の趣旨に基づき、多摩府中保健所と連携しながら、武蔵野市医師会、武蔵野市歯科医師会、武蔵野市助産師会の協力を得て乳幼児の健康診査、母子の保健指導、相談事業などを実施している。

(1) 母子健康手帳の交付

母性保健及び健やかな出産のため、母子健康手帳を交付する。

母子健康手帳交付数（令和5年度）

（部）

交付場所 分類		健康課	子ども家庭 支援センター	吉祥寺市政 センター	中央市政 センター	武蔵境市政 センター	計
妊娠交付	満 11 週以内	466	310	76	74	125	1,051
	満 12～19 週	7	11	5	3	1	27
	満 20～27 週	2	1	1	0	0	4
	満 28 週以上	0	3	0	0	0	3
	不詳	0	0	0	0	0	0
	計	475	325	82	77	0	1,085
双胎		10	6	2	0	1	19
出生後交付		0	0	0	0	0	0
海外出生後交付		7	22	0	0	0	29
再交付		4	8	0	0	0	12
交付数計		496	361	84	77	127	1,145

年度別交付者数

（部）

年度 人数	元(31)	2	3	4	5
妊娠交付数計	1,215	1,202	1,185	1,125	1,085
交付数計	1,249	1,237	1,240	1,178	1,145

※交付数には双胎、出生後交付、海外出生後交付、再交付を含む。

(2) ゆりかごむさしの面接

妊娠届出書を提出した妊婦（転入含む）に対し、市の母子保健サービスの紹介や妊娠中の過ごし方等について、保健師等による妊婦面接（ゆりかごむさしの面接）を実施する。

年度別実施数

年度	元(31)	2	3	4	5
妊婦数(新規)(人)	1,215	1,202	1,185	1,125	1,085
妊婦数(転入)(人)	93	125	116	95	106
計	1,308	1,327	1,301	1,220	1,191
面接者数(人)	1,168	1,165	1,165	1,195	1,161
面接率(%)	89.3	87.8	89.5	98.0	97.5

※平成28年度から、子ども家庭支援センターでも妊婦面接を実施。

※令和元年度から、「ゆりかごむさしの面接」として実施。

※平成31年4月1日以降、「ゆりかごむさしの面接」を受けた方に対し、子ども・子育て応援券を配付。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため、通常の1万円分に2万円分(東京都補助1万円分、市単独事業1万円分)を上乗せし、3万円分を配付。)(子ども子育て支援課共管)

※令和3年度から、子ども家庭支援センターでも転入時の妊婦面接を実施。

※令和5年1月1日から出産・子育て応援事業を開始。1月～3月までに「ゆりかごむさしの面接」を受けた方に対し、出産応援給付金5万円分を給付。令和5年度からは、東京都の広域連携事業を活用し、「ゆりかごむさしの面接」を受けた方に対して出産応援ギフト5万円相当を給付。

(3) 妊婦健康診査・新生児聴覚検査

①妊婦健康診査

妊産婦及び乳児の死亡率の低下を図るとともに、流・早産、妊娠高血圧症候群、子宮内胎児発育遅延の防止等、母・児の障害予防を目的として実施する。

- ・対象者 妊婦(市民)
- ・実施方法 都内の委託医療機関において実施。医師の診断により必要に応じて精密健診も実施する。
- ・周知方法 母子健康手帳交付時に受診票を交付

②新生児聴覚検査

新生児の聴覚障害の早期発見及び早期療養を図り、もって聴覚障害による音声言語発達等への影響を抑制することを目的として実施する。

- ・対象者 生後50日未満の新生児(市民)
- ・実施方法 都内の委託医療機関において実施
- ・周知方法 母子健康手帳交付時に受診票を交付

保 健 衛 生

年度別実施結果

(回)

区分 \ 年度	元 (31)	2	3	4	5
1 回目	1, 159	1, 142	1, 140	1, 087	1, 043
2 回目～14 回目	11, 627	11, 244	11, 879	11, 180	11, 001
1 回目～14 回目計	12, 786	12, 386	13, 019	12, 267	12, 044
超音波検査	1, 022	965	1, 045	941	2, 940
子宮頸がん検診	1, 108	1, 098	1, 107	1, 060	1, 021
新生児聴覚検査	579	817	904	826	830

※平成20年4月から受診票交付枚数を5枚に、21年4月から受診票交付枚数を14枚に増やした。平成24年度から超音波検査の年齢要件を撤廃。平成28年度から子宮頸がん検診への助成を開始。令和元年度から新生児聴覚検査への助成を開始。令和5年度から超音波検査受診票交付枚数を4枚に増やした。

③妊婦健康診査受診費助成

東京都外の医療機関等又は助産所における妊婦健康診査を受診する妊婦に対し、妊婦健康診査に要する費用の一部を助成する。

年度別交付人数

(人)

区分 \ 年度	元 (31)	2	3	4	5
都外医療機関等	282	247	195	189	192
助産所	6	7	8	4	3

④新生児聴覚検査受診費助成

東京都外の医療機関等における新生児聴覚検査を受診する新生児の保護者に対し、新生児聴覚検査に要する費用の一部を助成する。

年度別交付人数

(人)

区分 \ 年度	元 (31)	2	3	4	5
都外医療機関等	266	180	160	148	152

※令和元年度当初は、平成30年度中に妊娠届出を行い平成31年4月1日以降に出生した新生児に対して、都内医療機関で受診した場合にも費用の一部を助成した。

(4) 妊婦歯科健康診査

妊婦の口腔疾患の早期発見及び早期治療を図るとともに、口腔衛生指導及び生活指導により妊娠中の健康で快適な生活と胎児の健全な歯牙形成に寄与することを目的として実施する。

- ・対象者 妊婦（市民）
- ・実施方法 武蔵野市歯科医師会に委託、妊娠中に1回市内指定医療機関で実施
- ・周知方法 市報、ホームページ、健康だより、チラシ

健診結果内訳（令和 5 年度）

（人）

対象 者数	受診 者数	むし歯 の総数	処置歯 の数	未処置		喪失		要補綴		歯肉炎の ある者	歯周炎の ある者	異常な しの者	要指導 の者	要歯石 除去の者	要精検・ 治療の者
				歯の数	人数	歯の数	人数	歯数	人数						
1,085	541	4,083	3,711	372	148	261	94	21	13	236	133	63	243	446	235

年齢別受診者内訳（令和 5 年度）

（人）

年齢	20 歳未満	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40 歳以上	未記入
受診者数	0	10	102	223	151	55	0

年度別実施結果

（人）

年度	元(31)	2	3	4	5
受診者数	533	487	562	499	541

(5) こうのとりの学級

親となる心構えを伝え、妊娠中の不安の解消を目的に実施し、孤立しがちな母親同士の地域での仲間づくりも援助する。平成 23 年度にペンギン学級、もく浴体験クラスを再編し、こうのとりの学級平日クラス、土曜日クラスとして実施。平成 29 年度から土曜日クラスを武蔵野市助産師会に委託して実施。令和 4 年度から、平日クラス（1 回 1 コース）を再開し、令和 4 年 11 月から土曜日クラスを 2 日制で実施。

- ・対象者 初産の妊婦とそのパートナー
- ・実施方法 平日クラス：年間12コース
土曜日クラス：年間12コース
- ・周知方法 市報、健康だより、チラシ

（人）

年度	人数	開催日数（日）	延参加者数	実参加者数	パートナーの 参加者数（延） （再掲）
元(31)	平日クラス	22	306	129	5
	土曜日クラス	11	612	612	303
2	平日クラス ※オンラインクラス	8	87	87	—
	土曜日クラス	8	417	417	206
3	平日クラス	—	—	—	—
	土曜日クラス	12	748	748	369
4	平日クラス	12	200	200	81
	土曜日クラス	17	913	682	446
5	平日クラス	12	228	228	92
	土曜日クラス	24	1,250	703	611

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和 2 年 3～7 月は事業を中止し、8 月から平日は月 1 回のオンラインクラスに変更、土曜日は定員を減らして実施した。

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和 3 年度は平日クラスを中止し、平日クラスの講話内容を土曜日クラス申込者に対して動画配信した。

保 健 衛 生

(6) 妊産婦・乳幼児保健指導

経済的理由により保健指導を受け難い妊産婦・乳幼児に対して、必要な保健指導を受ける機会を与える目的で実施している。（※保健指導：診察や検査をはじめ、療養の指導、疾病の予防及び健康増進に必要な保健上の指導を行う。）

- ・対象者 ①生活保護を受けている世帯
②住民税が非課税の世帯
- ・実施方法 都内の委託医療機関
- ・周知方法 母子健康手帳交付時にチラシを配布

年度別実施結果

年度	利用状態	申請者数 (人)	使用枚数／交付枚数(枚)		
			妊婦	産婦	乳幼児
元(31)		2	-	1/1	1/2
2		3	-	1/1	2/2
3		6	-	3/3	3/5
4		4	-	1/2	0/2
5		3	-	1/1	2/2

(7) 妊産婦訪問・こんにちは赤ちゃん訪問等

妊娠届、出生通知票により対象者を把握し、保健師及び訪問指導員が妊産婦の健康保持と、新生児及び乳児の健康な発育のために訪問指導を行う。

- ・訪問指導員 13名
- ・対象者 妊産婦、生後1歳未満の乳児（こんにちは赤ちゃん訪問を含む）
- ・実施方法 各家庭訪問
- ・周知方法 母子健康手帳交付時に出生通知票を配布、健康だより、市報、ホームページ

年度別訪問指導結果

年度		妊婦訪問			産婦訪問			こんにちは赤ちゃん訪問等 (新生児＋未熟児＋乳児)			一般 幼児 訪問
		総数	保健師	指導員	総数	保健師	指導員	総数	保健師	指導員	
元 (31)	実人数	34	31	3	1,069	206	863	1,130	214	916	76
	延人数	42	38	4	1,112	212	900	1,177	218	959	77
2	実人数	78	62	16	1,011	202	809	1,031	210	821	76
	延人数	85	69	16	1,119	246	873	1,143	256	887	79
3	実人数	32	29	3	1,150	174	976	1,303	296	1,007	208
	延人数	49	46	3	1,541	398	1,143	1,778	627	1,151	459
4	実人数	32	27	5	1,192	291	901	1,293	318	975	170
	延人数	60	55	5	1,847	647	1,200	2,016	761	1,255	435
5	実人数	38	34	4	1,191	291	900	1,283	322	961	214
	延人数	68	64	4	1,861	648	1,213	1,929	706	1,223	568

※地区担当保健師によるフォロー訪問数を含む。

(8)産後ケア事業

出産後に家族等からの支援を受けることが困難な母子で、育児支援を必要とするものに対し、心身のケア、育児の支援その他健康の維持及び増進に必要な支援を指定医療機関で行う。令和元年6月から利用登録開始、7月から利用開始。令和3年度から、宿泊型における1泊2日利用及び経産婦の利用を開始、早産児（37週未満で生まれた乳児）は対象期間を出産週数に合わせて延長、多胎児は利用日数を合計14日間に増やした。

①宿泊型（ショートステイ）

- ・実施機関 (1)武蔵野赤十字病院、(2)松が丘助産院、(3)マザリーズ助産院、(4)赤川クリニック

※(2)松が丘助産院、(3)マザリーズ助産院は令和4年2月から開始

※(4)赤川クリニックは令和5年1月から開始

- ・対象者 生後7か月未満の乳児とその母親

②日帰り型（デイケア）

- ・実施機関 (1)医療法人社団MLCむさしのレディースクリニック、(2)松が丘助産院、(3)マザリーズ助産院、(4)社会福祉法人聖ヨハネ会桜町病院、(5)赤川クリニック、(6)吉祥寺ふわまる助産院、(7)産後ケア助産院はるかぜ

※(2)松が丘助産院、(3)マザリーズ助産院、(4)社会福祉法人聖ヨハネ会桜町病院は令和4年2月から開始

※(5)赤川クリニックは令和5年1月から開始

※(6)吉祥寺ふわまる助産院は令和5年9月から開始

※(7)産後ケア助産院はるかぜは令和5年11月から開始

- ・対象者 生後7か月未満の乳児とその母親

③訪問型（アウトリーチ） 令和4年7月から開始

- ・実施機関 (1)武蔵野市助産師会

- ・対象者 生後1年未満の乳児とその母親

保 健 衛 生

年度別結果

		元(31)	2	3	4	5
登録人数(人)		238	299	395	384	733
利用人数 (宿泊型)	実人数(人)	21	27	45	58	82
	延日数(日)	105	98	161	199	271
利用人数 (日帰り型)	実人数(人)	72	123	145	31	217
	延日数(日)	210	438	475	48	607
利用人数 (訪問型)	実人数(人)				72	74
	延回数(回)				112	111

※新型コロナウイルス感染症等施設の都合のため、宿泊型（武蔵野赤十字病院）は令和2年4月9日から6月17日まで、令和3年8月12日から10月10日まで、令和4年1月21日から令和5年5月7日まで、日帰り型（医療法人社団MLCむさしのレディースクリニック）は令和4年1月28日から令和5年6月11日まで、桜町病院は令和4年7月25日から9月12日まで、受け入れ中止とした。

(9)産後支援訪問事業

育児不安が強い、産後うつの指標が高い等、特に育児の支援が必要な家庭に対し、母親の身体的回復と心理的な安定を図ることを目的として助産師等専門職が家庭訪問（月2回程度）を実施する。平成30年度開始。

- ・訪問指導員 助産師3名
- ・対象者 おおむね生後4か月未満の乳児がおり若年、育児不安等により支援を必要とする家庭
- ・実施方法 家庭訪問

年度別結果

年度	元(31)	2	3	4	5
実利用家庭数(件)	7	19	24	40	45
延べ利用日数(日)	28	84	103	172	167

(10)育児相談（ベビーサロン）

月齢・年齢に応じた育児上の悩みや、健康上の問題を解決できるよう健康相談及び健康教育を行う。また、孤立しがちな母子に対して、友達作りや情報交換の場を提供し、子育てを支援する。平成28年度からは、2か月～1歳未満児と1～6歳児に対象を分けて実施していた育児相談の体制を改め、武蔵野市助産師会の協力を得て赤ちゃん相談室を実施。平成30年度から、ベビーサロンに名称を変更。令和4年度より、実施会場に0123吉祥寺、0123はらっぱを追加し実施。

- ・対象者 1か月健診終了後～1歳のお誕生日前日までの乳児
- ・実施方法 4会場で実施
- ・実施内容 助産師・保健師・管理栄養士による育児の相談、体重測定
- ・周知方法 市報、健康だより、チラシ、ホームページ

実施結果（令和5年度）

実施会場	回数 (回)	来所者数(人)		
		初回	再来	計
保健センター	8	127	185	312
市民会館	6	83	67	150
0123 吉祥寺	6	44	44	88
0123 はらっぱ	4	36	52	88
計	24	290	348	638

年度別結果 (人)

年度	元(31)	2	3	4	5
来所者数	950	244	514	597	638

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年3～7月は事業を中止した。再開後は、感染症対策として、自由来所制から予約制へ変更し、会場ごとに対象地区を定めて実施した。

※引き続き、令和3年度から5年度まで新型コロナウイルス感染症への対応のため、自由来所制ではなく予約制にて実施した。

(11) 離乳食教室（育児学級）

① 離乳食ごっくん教室・もぐもぐ教室・かみかみ教室・1歳ごはん教室

3か月～1歳3か月の乳幼児とその父母を対象に、離乳食の話と試食、歯の手入れの話を通して、乳幼児の生活習慣や食習慣の重要性について啓発する。平成28年度から、離乳初期向けのはじめて教室を開始し、令和元年度から名称をごっくん教室に変更して実施している。令和2年度から、離乳完了期向けの1歳ごはん教室を開始した。

- ・ごっくん教室：3～6か月の乳児（第1子優先）とその父母
(平成30年度までは4～6か月の乳児対象)
- ・もぐもぐ教室：5～8か月の乳児（第1子優先）とその父母
(平成30年度までは7～8か月の乳児対象)
- ・かみかみ教室：7～10か月の乳児（第1子優先）とその父母
(平成30年度までは9～11か月の乳児対象)
- ・1歳ごはん教室：11か月～1歳3か月の乳幼児（第1子優先）とその父母
(令和4年度までは11か月～1歳2か月の乳幼児対象)
(令和5年7月までは第1子のみ対象)

保 健 衛 生

年度別参加者数

(人)

教室名	区分	元(31)	2	3	4	5
ごっくん	実参加者数(子)	251	114	210	231	212
	父母・兄弟姉妹の参加者数	278	119	237	260	267
もぐもぐ	実参加者数(子)	247	83	187	224	185
	父母・兄弟姉妹の参加者数	266	84	202	244	218
かみかみ	実参加者数(子)	187	65	153	179	151
	父母・兄弟姉妹の参加者数	208	70	171	201	175
1歳ごはん	実参加者数(子)		42	61	74	114
	父母・兄弟姉妹の参加者数		44	69	87	132

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年2月のかみかみ教室、3～6月の全ての教室を中止し、7月のかみかみ教室から再開した。再開後も、1歳6か月児保育相談・歯科健診の回数を増やしたことに伴い、1歳6か月児保育相談・歯科健診と重複する5日間は中止とした。

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年度から5年度は試食と交流を中止した。

※育児学級とは、育児経験や地域での交流の少ない保護者に対し、乳幼児期の育児についての基本的な知識の習得、育児に対する不安をグループの力を通して解決するなど、子育て支援を行うものである。なお、育児学級は「離乳食教室」「1歳6か月児フォロークラス」「3歳児フォロークラス」「親支援グループミーティング事業」のことをいう。

(12) 乳児健康診査(3～4か月児)、産後健康相談

① 乳児健康診査(3～4か月児)、産後健康相談

疾病その他異常の疑いのある乳児を発見するとともに、適切な保健指導を実施し、専門医療機関への紹介を行っている。精密健康診査を必要とする乳児には、同受診票を交付している。

また、乳児健康診査時に来所した母親の健康状態を確認している。

- ・対象者 前月に生後3か月から5か月に達するまでの乳児とその母親
- ・実施方法 年27回(月2～3回)
予診、計測、内科健診、個別指導(栄養、育児)、集団指導(栄養、歯科)
- ・周知方法 市報、健康だより、個別通知、ホームページ

3～4か月児健康診査結果(令和5年度)

受診者数(人)	有所見者実数(人)	所見内訳(延数)(人)												
		延数 有所見者 合計	発育	皮膚	頭頸部	顔面 口腔	眼	耳鼻 咽喉	胸部・ 腹部	鼠径 外陰部	背部	四肢	発達・ 神経	その他
987	258	317	38	93	7	5	4	5	25	24	3	14	86	13
有所見率(%)			3.9	9.4	0.7	0.5	0.4	0.5	2.5	2.4	0.3	1.4	8.7	1.3
指示 内訳 (人)	精密健診	19	0	3	1	0	1	0	0	3	1	10	0	0
	受診/治療勧奨	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他機関管理中	107	5	49	2	5	1	1	18	10	2	0	7	7
	経過観察	158	20	26	2	0	2	4	7	11	0	4	79	3
	一時的指導	25	13	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3

年度別結果

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	有所見者実数(人)	有所見率(%)
元(31)	1,139	1,113	97.7	551	49.5
2	1,095	1,060	96.8	225	21.2
3	1,127	1,079	95.7	263	24.4
4	1,118	1,093	97.8	264	24.2
5	1,014	987	97.3	258	26.1

産後健康相談実施状況

年度	対象者数(人)	相談者数(人)	相談率(%)
元(31)	1,122	1,092	97.3
2	1,087	1,060	97.5
3	1,112	1,051	94.5
4	1,100	1,064	96.7
5	1,005	956	95.1

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年4月は健診を延期し、5月から個別医療機関での実施にて再開した。

②乳児精密健康診査

乳児健康診査の結果、診断の確定のため精密健康診査を要する者について、専門的な診断のできる医療機関の協力を得て精密健康診査を行い、乳児健康診査の充実強化を図る。

年度別受診票発行数

(枚)

年度	元(31)	2	3	4	5
発行数	25	14	19	28	24

(13)乳児健康診査(6・9か月児)

6～7か月児及び9～10か月児を対象とする乳児健康診査を医療機関に委託して行い、乳児の保健管理の向上を図る。

- ・対象者 6～7か月児及び9～10か月児
- ・実施方法 都内の委託医療機関にて実施
また、医師の診断により必要に応じて精密健診も実施する
- ・周知方法 市報、健康だより、個別通知、ホームページ

6～7か月児健康診査年度別結果

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	有所見者実数(人)	有所見率(%)
元(31)	1,122	1,110	98.9	64	5.8
2	1,095	1,075	98.2	46	4.3
3	1,127	1,049	93.1	50	4.8
4	1,118	1,094	97.9	67	6.1
5	1,014	1,026	101.2	58	5.7

保 健 衛 生

9～10か月児健康診査年度別結果

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	有所見者実数(人)	有所見率(%)
元(31)	1,122	1,125	100.3	70	6.2
2	1,095	1,035	94.5	43	4.2
3	1,127	987	87.6	36	3.6
4	1,118	1,050	93.9	33	3.1
5	1,014	1,029	101.5	43	4.2

(14) 1歳6か月児健康診査（内科・歯科・相談）・精密健康診査

① 1歳6か月児健康診査（内科）

幼児初期の身体発育・精神発達の面で、歩行や言語発達の重要な時期である1歳6カ月の時点で健康診査を実施することにより、運動機能、視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障害をもった幼児を早期に発見し、心身障害の進行を未然に防止するとともに生活習慣、育児に関する指導を行い、幼児の健康保持及び増進に努めている。

- ・対象者 1歳6か月に達した幼児（原則として1歳9か月になる前日まで）
- ・実施方法 武蔵野市医師会に委託（22医療機関）
- ・周知方法 市報、健康だより、個別通知、ホームページ

有所見者内訳（令和5年度）

（人）

有所見者数	頭部	顔面			頸部	胸部	腹部	泌尿生殖器	四肢	皮膚	運動機能	精神発達
		顔貌	眼	耳鼻口腔								
136	5	1	7	0	0	9	3	9	5	34	10	74

※複数所見があるため、内訳件数と合致しない。

年度別受診者数

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	有所見者数(人)	有所見率(%)
元(31)	1,103	1,072	97.2	109	10.2
2	1,122	1,102	98.2	115	10.4
3	1,093	986	90.2	103	10.4
4	1,077	987	91.6	116	11.8
5	1,094	1,034	94.5	136	13.2

② 1歳6か月児歯科健康診査

乳幼児の虫歯の発生には、日常生活のあり方が大きな影響を与えていることを重視し、虫歯が発生し始める1歳6か月児の時点で歯科健康診査を実施し、虫歯の予防や進行抑制を図り、同時に適切な指導を行い、幼児の健康保持及び増進に努めている。

- ・対象者 1歳6か月に達した幼児（原則として1歳9か月になる前日まで）
- ・実施方法 武蔵野市歯科医師会に委託。原則として毎月2回、保健センターで実施。
- ・周知方法 市報、健康だより、個別通知、ホームページ

実施結果内訳（令和5年度）

対象者数 (人)	実施 回数 (回)	受診者数 (人)	むし歯の ない者 (人)			むし歯の ある者 (人)				(再掲) 未処置歯 のある者 (人)
				O ¹ 型	O ² 型		A型	B型	C型	
1,113	26	1,104	1,099	612	487	5	4	1	0	4

不正咬合 のある者 (人)	軟組織 異常の ある者 (人)	その他の 異常の ある者 (人)	現在歯数 (本)	むし歯(本)			健診結果総評		
				総数	処置 歯数	未処置 歯数	歯のよごれ具合 (本)		
							a	b	c
82	158	80	15,542	10	2	8	91	1,006	7

※歯のよごれ具合：a. きれい b. 普通 c. よごれている

年度別結果

年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	虫歯のない者		虫歯のある者	
				人数(人)	受診者に対 しての割合 (%)	人数(人)	受診者に対 しての割合 (%)
元(31)	1,103	1,020	92.5	1,016	99.6	4	0.4
2	1,311	1,157	88.3	1,148	99.2	9	0.8
3	1,074	1,058	98.5	1,056	99.8	2	0.2
4	1,018	1,007	98.9	1,002	99.5	5	0.5
5	1,113	1,104	99.2	1,099	99.5	5	0.5

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年3月の2回分、4～5月は健診を延期した。

※延期した令和2年3月の対象者が令和2年度に振替となったため、令和2年度については、1歳6か月児健康診査（内科）と対象人数が異なる。

③1歳6か月児（母）親歯科健康診査

1歳6か月児歯科健康診査に合わせて、（母）親の口腔疾患の早期発見に努めるとともに、口腔衛生に対する正しい知識を普及し、健康で快適な生活に寄与することを目的として実施している。

- ・対象者 1歳6か月児歯科健康診査を受ける幼児の（母）親
- ・実施方法 武蔵野市歯科医師会に委託
原則として毎月2回、保健センターで実施（1歳6か月児歯科健康診査と同時実施）
- ・周知方法 市報、健康だより、個別通知、ホームページ

実施結果内訳（令和5年度）

対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の ある者 (人)	要補綴歯 のある者 (人)	歯肉炎の ある者 (人)	要歯石除去 の者 (人)	むし歯総数 (本)	処置歯数 (本)	未処置歯数 (本)	喪失歯数 (本)	年齢別受診者数(人)						
											10 ～ 19	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	不明
1,102	1,031	93.6	219	36	223	343	7,285	6,462	823	547	0	7	87	373	362	202	0

保 健 衛 生

年度別結果 (人)

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
元(31)	962	944	98.1
2	1,080	1,055	97.7
3	989	964	97.5
4	963	931	96.7
5	1,102	1,031	93.6

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年3月の2回分、4～5月は健診を延期した。

※令和4年10月13日から、母親歯科健康診査の対象を拡大し、親歯科健康診査を開始した。

④ 1歳6か月児保育相談

発達の遅れや心身（特に視聴覚及び心理面）の異常を早期に発見し、適切な治療や療育に結びつけるとともに、母親の育児上の悩みなどの解決に努め、幼児の健全な発達に寄与するため保育相談を実施している。

- ・対象者 1歳6か月に達した幼児
- ・実施方法 原則として毎月2回、保健センターで歯科健診と同日に実施
予診、個別指導（栄養、保育、心理）
- ・周知方法 市報、健康だより、個別通知、ホームページ

実施結果（令和5年度）

対象者数 (人)	相談者数 (人)	相談率(%)	個別指導件数(件)			事後フォロー人数(人)	
			保育	栄養	心理	保健師	その他
1,113	1,106	99.4	269	177	202	239	250

※事後フォロー その他：他機関で管理、治療中、要精検など

年度別結果

年度	対象者数(人)	相談者数(人)	相談率(%)
元(31)	1,103	1,022	92.7
2	1,311	1,157	88.3
3	1,074	1,061	98.8
4	1,018	1,008	99.0
5	1,113	1,006	99.4

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年3月の2回分、4～5月は健診を延期した。

※延期した令和2年3月の対象者が令和2年度に振替となったため、令和2年度については、1歳6か月児健康診査（内科）と対象人数が異なる。

⑤ 1歳6か月児精密健康診査

1歳6か月児健康診査の結果、診断の確定のため精密健康診査を要する者について、専門的な診断のできる医療機関の協力を得て精密健康診査を行い、1歳6か月児健康診査の充実強化を図る。

年度別受診票発行数 (枚)

年度	元(31)	2	3	4	5
発行数	0	0	1	0	0

(15) 1歳6か月児フォロークラス（育児学級）

1歳6か月児保育相談、乳幼児発達相談で、成長発達上経過観察が必要と認められた幼児に対し実施している。

- ・対象者 成長発達上、集団活動による経過観察の必要な幼児とその保護者
- ・実施方法 毎月2回、保健センターで実施（集団遊び、保健指導、心理相談等）
- ・周知方法 1歳6か月児保育相談、乳幼児発達相談で保健師、心理相談員が勧奨

年度別参加者数

年度	実施回数 (回)	参加者数（実）（人）	参加者数（延）（人）	父母の参加者数（実）（人）
元(31)	26	156	324	158
2	28	110	179	109
3	34	134	244	138
4	43	161	434	160
5	48	160	443	164

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年3～6月は事業を中止した。

(16) 3歳児健康診査・精密健康診査

① 3歳児健康診査

3歳頃は幼児期の中でも身体発育、精神発達面から重要な時期であるため、医師、歯科医師、心理相談員・視能訓練士等が参加し、総合的に健康診査を実施する。個別指導が必要な者には、保健師・栄養士等が指導し、精密健康診査を必要とする者には同受診票を交付している。

- ・対象者 3歳以上4歳未満の幼児
- ・実施方法 原則として毎月2回、保健センターで実施。
予診、尿検査、計測、視力検診、聴覚検診、診察、歯科健診、集団保健指導。必要者には、個別に保健指導、栄養指導、心理相談または精密健診受診票を発行する。
- ・周知方法 市報、健康だより、個別通知、ホームページ

年度別実施状況

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	有所見者数 (実) (人)	有所見率(%)
元(31)	1,186	1,169	98.6	340	29.1
2	1,315	1,319	100.3	334	25.3
3	1,069	1,008	94.3	286	28.4
4	1,077	1,095	101.7	329	30.0
5	1,038	1,011	97.4	282	27.9

保 健 衛 生

所見内訳（令和5年度）

受診者数(人)		有所見者実数(人)	所見内訳（延数）(人)														(再掲)
			有所見者延数	発育	皮膚	顔面・口腔	頭頸部	眼	耳鼻咽喉	胸部腹部	鼠径外陰部	背部四肢	運動	精神	言語	日常習慣	その他
1,011		282	336	26	17	5	150	6	11	10	2	4	32	28	18	27	8
有所見率(%)				2.6	1.7	0.5	14.8	0.6	1.1	1.0	0.2	0.4	3.2	2.8	1.8	2.7	0.8
指示内訳(人)	精密健診	103	0	1	1	85	3	1	4	0	0	0	0	0	8	8	
	受診(治療)勧奨	57	0	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	
	他機関管理中	78	4	11	3	10	3	9	4	2	1	12	7	1	11	0	
	経過観察	47	15	4	0	0	0	1	1	0	3	5	13	2	3	0	
	一時的指導	51	7	1	1	1	0	0	1	0	0	15	8	15	2	0	

※視力検診・聴覚検診：3歳児健康診査に併せて実施している。事前に検診セットを郵送し、家庭で検査を実施、3歳児健康診査当日に結果を持ってきていただき、判定する。

※令和4年7月から、視覚スクリーニング検査（スポットビジョンスクリーナー）を導入した。

年度別視力検診実施結果

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	検査結果内訳(人)			
				異常なし	要再検査	要精密検査	その他
元(31)	1,186	1,169	98.6	1,076	33	48	12
2	1,315	1,319	100.3	1,215	35	56	13
3	1,069	1,008	94.3	900	46	37	25
4	1,077	1,095	101.7	955	41	81	18
5	1,038	1,011	97.4	862	52	85	12

年度別聴覚検診実施結果

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	検査結果内訳(人)			
				異常なし	要再検査	要精密検査	その他
元(31)	1,186	1,169	98.6	1,137	6	2	24
2	1,315	1,319	100.3	1,307	1	0	11
3	1,069	1,008	94.3	998	2	0	8
4	1,077	1,095	101.7	1,089	0	3	3
5	1,038	1,011	97.4	1,003	0	3	5

年度別歯科健診実施結果

年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率(%)	虫歯のない者		虫歯のある者	
				人数(人)	受診者に対する割合(%)	人数(人)	受診者に対する割合(%)
元(31)	1,186	1,169	98.6	1,094	93.5	75	6.4
2	1,315	1,316	100.1	1,240	94.2	76	5.8
3	1,069	1,006	94.1	968	96.2	38	3.8
4	1,077	1,090	101.2	1,049	96.2	41	3.8
5	1,038	1,003	96.6	977	97.4	26	2.6

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年3月の2回分、4～5月は健診を延期した。

②3歳児精密健康診査

3歳児健康診査の結果、診断の確定のため精密健康診査を要する者について、専門的な診断のできる医療機関の協力を得て精密健康診査を行い、3歳児健康診査の充実・強化を図る。

年度別受診票発行数

(枚)

年度	元(31)	2	3	4	5
発行数	52	64	55	92	102

(17) 3歳児フォロークラス（育児学級）

3歳児健康診査において、言葉が遅れている、友達と遊べない、母子分離ができない等で心理相談・経過観察が必要とされた児と母親に対し、集団による遊びや創作活動を中心に、心理相談員、幼稚園教諭、保健師等がグループ支援を実施。平成22年度開始。

- ・対象者 成長発達上、集団活動による経過観察の必要な幼児とその保護者
- ・実施方法 保健センターで実施。自由遊び、テーマ遊び、個別相談
- ・周知方法 3歳児健康診査、乳幼児発達健診で保健師、心理相談員が勧奨

年度別参加者数

年度	実施回数(回)	参加者数（実）（人）	参加者数（延）（人）	父母の参加者数（実）（人）
元(31)	16	41	129	42
2	18	26	83	26
3	21	38	109	37
4	20	23	82	23
5	15	16	59	16

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年3～6月は事業を中止した。

保 健 衛 生

(18)親支援グループミーティング事業（育児学級）

こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査、保健師の地区活動などにおいて保健師が要支援と判断した家庭の母親に対し、育児不安の軽減や育児スキルの向上、孤立感の解消と仲間づくりを図るためグループミーティングを実施。ファシリテーター、保健師が運営し、グループミーティング中は保育士らが託児を行う。平成 20 年度開始。

- ・対象者 0 歳児を持つ要支援家庭の母親（最大 1 歳 6 か月児まで）
- ・実施方法 原則として毎月 2 回、保健センターで実施
- ・周知方法 こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査などで保健師が勧奨

年度別参加者数

年度	実施回数(回)	参加者数（実） （人）	参加者数（延） （人）	保育児数（実） （人）	保育児数（延） （人）
元(31)	21	13	100	25	94
2	17	15	74	20	80
3	24	27	154	37	159
4	24	22	146	35	137
5	24	20	113	50	103

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和 2 年 3 ～ 6 月は事業を中止した。

(19)乳幼児発達相談

乳幼児健康診査の結果、発育上要経過観察と指示された者を対象に実施している。

- ・対象者 各種健診等で経過観察が必要とされた乳幼児
- ・実施方法 原則として毎月 1 ～ 2 回、保健センターで実施。
小児科医による診察、心理相談、栄養相談、保健指導
- ・周知方法 健康だより、保健師、心理相談員が必要に応じて勧奨

年度別実施結果

年度	実施回数(回)	受診者数(人)		有所見者数(人)
		延人数	うち医師診察者数	
元(31)	15	429	73	17
2	13	211	27	13
3	15	301	27	12
4	15	364	39	16
5	15	452	57	29

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和 2 年 4 ～ 5 月は事業を中止した。

(20)乳幼児発達健康診査（令和元年度から障害者福祉課から再移管）

乳幼児健康診査の結果、運動発達遅滞、精神発達遅滞等が疑われる乳幼児を対象に実施している。

- ・対象者 運動発達遅滞、精神発達遅滞が疑われ、発達面、心理面での経過観察が必要とされた乳幼児
- ・実施方法 毎月 1 ～ 2 回、保健センターで実施。
小児神経科専門医による健診、理学療法士による指導、心理相談、栄養相談、保健指導
- ・周知方法 健康だより、保健師、心理相談員が必要に応じて勧奨。

年度別実施結果

年度	実施回数(回)	受診者数(人)		初診者中の有所見者数(人)
		初回受診人数	延人数	
元(31)	17	95	183	91
2	15	88	177	78
3	15	99	194	91
4	16	101	190	89
5	15	114	215	90

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年4月は事業を中止した。

(21)乳幼児歯科相談

継続的な診査、指導、処置等を行うことで乳幼児の口腔の健全な発育発達を促し、心身の健康増進に寄与することを目的として実施している。また、第1大臼歯のむし歯予防のために5歳児歯科教室を行う。

- ・対象者 1歳6か月から4歳前後の幼児（申込対象者は1歳6か月から2歳6か月の幼児）

※5歳児歯科教室は5歳から6歳の未就学児を対象に実施

- ・実施方法 ①歯科健康教育（むし歯予防教室）：毎月2回
- ②歯科健診及び保健指導：毎月3回
- ③予防処置（フッ素塗布・と銀法）：毎月3～4回
- ④歯科健康教育（卒業教室）：隔月1回
- ⑤5歳児歯科教室：年2回

} *

*①～③：3か月ごとに健診を受け、必要に応じて予防処置を受ける

- ・周知方法 市報、ホームページ、健康だより、1歳6か月児歯科健康診査で案内

年度別実施結果

(延) (人)

年度	むし歯 予防 教室	歯科健診		予防処置					保健 指導	卒業 教室	5歳児 歯 科
			初診 (再掲)		フッ素 塗布	と銀法	歯石 除去	その他			
元(31)	192	1,100	227	367	321	0	25	21	811	84	8
2	0	196	146	0	0	0	0	0	154	42	4
3	125	514	169	124	123	0	1	0	341	30	16
4	106	620	129	130	129	0	0	1	483	24	7
5	108	643	132	144	136	0	3	5	478	40	14

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年3～6月は事業を延期した。

※令和2年度の歯科健診については7月から再開し、むし歯予防教室及び卒業教室は中止とした。なお、5歳児歯科については年1回の開催とした。

保 健 衛 生

(22) 保育所歯科健康教育

歯に対する関心と知識を高め、好ましい口腔衛生習慣が身につけられることを目的として、市内認可保育園に通う 3、4、5 歳児への歯科健康教育を実施。

年度	実施人数(人)	実施保育園数(園)
元(31)	1,394	29
2	804	19
3	1,360	33
4	1,461	36
5	1,448	37

(23) ゆりかごむさしのフェスティバル

妊婦及び子育て中の方を対象として、子育てを楽しめるきっかけを作り、相談機関としての保健センターを知ってもらうことを目的に、相談や体験コーナー、各種講座や展示を実施。

年度	開催場所	来場者数 参加者延人数(人)		
		合計 (人)	子ども (人)	大人 (人)
元(31)	武蔵野市立保健センター	401	138	263
2	-	-	-	-
3	オンライン開催	-	-	-
4	武蔵野市立保健センター	545	231	314
5	武蔵野市立保健センター	283	111	172

(24) バースデーサポート事業（令和4年度までファーストバースデーサポート事業）

1 歳を迎える子どもを育てる家庭に対し、育児パッケージ（令和3年度はQUOカード10,000円分、令和4、5年度はQUOカードPay10,000円分）の配付を通じて、子育て支援の情報提供や家庭状況の把握などを行い、相談支援体制を強化する。（令和3年4月1日事業開始）

- ・対象者 武蔵野市内在住で、令和3年4月1日以降に1歳6か月児保育相談・歯科健診を受診した家庭
- ・周知方法 市報、健康だより、ホームページ、個別通知

年度別実施結果 (人)

年度	対象数	配付数
3	1,074	1,060
4	1,018	1,008
5	1,113	1,106

(25) 多胎児家庭移動経費補助

0～2歳の多胎児を育てる家庭に対し、ふたご・みつごおでかけサポート券（24,000円分）を配付することで、多胎児家庭が抱える、同時に2人以上の妊娠・出産・育児をすることに伴う身体的・精神的負担や外出の不自由等の多胎児家庭特有の困難の軽減を図る。（令和3年4月1日事業開始）

- ・対象者 保健師又は助産師による面接を受けた、面接日当日に0、1、2歳の多胎児がいる家庭
※それぞれの年齢で1回補助を受けることが可能。
- ・周知方法 市報、健康だより、ホームページ、個別通知

年度別実施結果

年度	0 歳		1 歳		2 歳	
	対象数 (組)	配付数 (組)	対象数 (組)	配付数 (組)	対象数 (組)	配付数 (組)
3	13	19	12	15	27	25
4	20	19	10	12	10	6
5	8	12	19	14	10	12

※対象数には各年齢の多胎児家庭のうち、当該年度に新たに対象となる家庭の数を計上。

(26) 東京都出産応援事業（委託事業）

コロナ禍において、これから子どもを産み育てる家庭を応援・後押しするため、子ども一人あたり10万円分の育児用品や子育て支援サービス等を提供する。（令和3年4月1日事業開始。事業実施期間：令和3～4年度の2年間）

- ・対象者 令和3年1月1日～令和5年3月31日生まれで、出生日当日に東京都内に住民登録がある児
- ・実施方法 出生日の翌月末（令和3年1月～2月生まれは令和4年4月末）に専用サイトへのログインに必要なID・パスワードが記載されたギフトカードを送付。専用ウェブサイトにて10万円分の育児用品や子育て支援サービス等の提供及び子育て家庭の状況やニーズ把握のためのアンケート、東京都の子育て支援に関する情報提供を実施。

年度別実施結果

年度	対象生年月日	配付数
3	R3. 1. 1～R4. 2. 28	1,302
4	R4. 3. 1～R5. 2. 28	1,095
5	R5. 3. 1～R5. 3. 31	83

保 健 衛 生

(27) 出産・子育て応援事業

全ての妊産婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を実施するとともに、妊婦・子育て世帯の負担軽減を図る出産・子育て応援給付による経済的支援を一体的に実施する（令和5年1月1日事業開始）。令和5年度からは、東京都の広域連携事業（当該年度中に出生した子どもに対する「子育て応援給付」5万円相当に独自で5万円相当を上乗せ）を活用して経済的支援を実施する。

- ・伴走型相談支援 ゆりかごむさしの面接、妊娠後期アンケート、こんにちは赤ちゃん訪問
 - ・経済的支援 出産応援給付5万円相当（妊婦一人につき）、子育て応援給付10万円相当（子ども一人につき）
 ※令和4年度中に出生した子どもに対する子育て応援給付は5万円相当
 - ・出産応援給付対象者 ①令和5年1月1日以降にゆりかごむさしの面接を受けた者
 ②令和4年4月1日～令和4年12月31日に妊娠届出をした者
 ③令和4年4月1日～令和4年12月31日に出生した児の母
 - ・子育て応援給付対象者 ④令和5年1月1日以降に出生した児を養育し、こんにちは赤ちゃん訪問を受けた者
 ⑤令和4年4月1日～令和4年12月31日に出生した児を養育する者
- ※②、③、⑤は遡及対象者。アンケートの返送を必須とした。

年度別実施結果

年度	経済的支援 給付内容	出産応援給付	子育て応援給付
		件数（件）	件数（件）
4	現金	1,722	970
5	ギフトカード	1,003	956

（健康課）

5. 未熟児養育医療給付事業

身体機能が未熟な状態で生まれた新生児が、指定医療機関に入院した際に、保険診療の自己負担分を助成する。健康保険非加入の場合は、医療費全額を助成する。

助成者数

（人）

年度	元(31)	2	3	4	5
対象者 （うち医療保険 等非加入者数）	28(0)	27(0)	21(0)	36(0)	21(0)

6. 保健師個別援助活動

市民の健康に関する個別の相談に応じるため、保健師による個別支援を行っている。母子保健事業においては、各種事業で把握された要支援家庭に対して、家庭訪問、面接、電話相談等で継続支援を行っている。また、関係機関と連携した支援を実施している。

(人)

年度	区分	総数 (延数)	精神保健 福祉	成人	妊産婦	乳児	幼児	その他
元(31)	家庭訪問	2,264	648	0	359	601	600	56
	面接相談	2,618	338	75	1,207	416	555	27
	電話相談	6,611	994	540	1,441	2,200	1,334	102
	文書等相談	196	13	0	78	69	35	1
	関係機関連絡	4,137	1,421	9	558	858	1,181	110
2	家庭訪問	2,084	588	1	322	732	370	71
	面接相談	2,370	292	25	1,325	231	484	13
	電話相談	6,372	1,110	220	1,445	2,155	1,189	253
	文書等相談	242	31	0	6	134	71	0
	関係機関連絡	3,375	1,176	0	358	768	934	139
3	家庭訪問	1,904	387	4	444	613	416	40
	面接相談	2,758	228	148	1,661	231	470	20
	電話相談	7,034	785	320	2,469	2,017	1,359	84
	文書等相談	86	18	0	23	24	21	0
	関係機関連絡	5,149	1,060	12	1,294	1,301	1,398	84
4	家庭訪問	2,042	167	2	702	711	417	43
	面接相談	2,453	142	187	1,592	196	309	27
	電話相談	6,971	348	283	2,967	1,985	1,275	113
	文書等相談	2,471	5	0	1,464	933	68	1
	関係機関連絡	5,381	637	21	1,672	1,427	1,480	144
5	家庭訪問	2,231	202	2	712	681	561	73
	面接相談	2,091	102	168	1,408	164	231	18
	電話相談	8,069	427	287	3,089	2,294	1,827	145
	文書等相談	1,159	36	1	1,052	47	21	2
	関係機関連絡	5,293	512	30	1,680	1,468	1,471	132

(健康課)

保 健 衛 生

7. 歯科衛生事業

(1) 口腔健康診査（歯の無料健診）

全市民を対象に歯の無料健診を行い、歯や口腔内の疾病の早期発見に努めるとともに、口腔衛生に対する正しい知識を普及させ、健康な生活に寄与することを目的としている。

① 口腔健康診査

- ・ 実施方法 武蔵野市歯科医師会に委託。当日受付
- ・ 実施内容 歯科健診コーナーにおける口腔内診査及び相談、個別歯科相談
- ・ 周知方法 市報、ホームページ、チラシ

会場別実施結果（令和5年度）

実施日	会場	受診者数	医師数	歯科衛生士数
3月31日（日）	武蔵野クリーンセンター（桜まつり）	336	13	6
計		336	13	6

年度別受診者数

年度	元(31)	2	3	4	5
受診者数	1,147	－	－	－	336
延会場数	3	－	－	－	1
健診日数	3	－	－	－	1

② よい歯のための集い

令和2年度から令和4年度までは新型コロナウイルス感染症への対応のため中止していたが、令和5年度に再開した。

- ・ 実施方法 武蔵野市歯科医師会と共催
- ・ 実施日 令和5年6月10日（土）
- ・ 実施場所 武蔵野公会堂
- ・ 周知方法 市報、ポスター、チラシ、ホームページ
- ・ 参加者 402名
- ・ 内容 親と子のよい歯のコンクール表彰、特別講演等

(2) 歯科健康診査

歯周疾患の早期発見・早期治療により、健康で快適な生活に寄与することを目的として実施している。

- ・対象者 40 歳以上の市民
- ・実施方法 武蔵野市歯科医師会に委託（78 医療機関）
- ・周知方法 個別通知（対象者全員）、市報、ホームページ、健康だより、ポスター、チラシ
- ・実施期間 7 月 1 日（土）～11 月 30 日（木）

受診者数（令和 5 年度）

一般診査受診者数	13,362
歯周診査受診者数	13,270
歯周診査（レントゲン）受診者数	12,809
口腔機能診査受診者数	11,797

年齢別受診者数（令和 5 年度）

区分	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳～	合計
男	774	962	1,068	1,288	874	4,966
女	1,485	1,886	1,766	1,887	1,372	8,396
計	2,259	2,848	2,834	3,175	2,246	13,362

年度別受診者数

年度	元(31)	2	3	4	5
対象者数（3 月 31 日時点 40 歳以上）	83,911	85,279	85,725	86,485	88,345
受診者数	5,943	5,937	6,553	6,828	13,362
受診率（％）	7.1	7.0	7.6	7.9	15.1

（健康課）

8. 食育事業

令和 5 年 3 月に定めた市の食育の基本目標と基本方針に基づき、健康につながる食育の推進を図るため保健サービスを実施している。

保 健 衛 生

(1) 実施事業

対象	事業名	開催回数（回）	参加人数（人）	
			集団指導	個別相談
全世代	健康相談	14	－	32
	健康なんでも相談	随時	－	153
	健康講座（栄養）	2	97	－
妊婦、乳幼児	こうのとりの学級（栄養講座）	12	136	2
	3～4か月児健康診査（離乳食講座）	27	740	19
	1歳6か月児保育相談（栄養相談）	26	－	177
	3歳児健康診査（栄養相談）	28	－	95
	発達相談（栄養相談）	15	－	141
	発達健診（栄養相談）	15	－	20
	離乳食ごっくん教室	11	222	131
	離乳食もぐもぐ教室	11	198	123
	離乳食かみかみ教室	9	164	100
	1歳ごはん教室	6	125	67
	乳幼児歯科相談（むし歯予防教室）	24	106	16
高齢者	おいしく元気アップ！教室	5期（15回）	延べ106	－
	歯つらつ健康教室	3期（15回）	延べ117	－
	他課・外部団体の事業における栄養講座（健康長寿のまち武蔵野推進月間、いきいき地域プロジェクト（在宅介護・地域包括支援センター）、市民会館料理講座）	4回	76	4

※健康課事業の詳細は各事業の報告頁を参照。参加人数は対象となる者の数。実参加者が親のみの場合も計上。

※健康課で実施している事業と、他課・外部団体の事業において健康課が行った栄養講座を掲載。

(2) 普及啓発

①第3回むさしの食育フェスタの実施

市の食育に関する取り組みを広く発信して市民の食への関心を高め、今後の食育活動の広がりを図ることを目的にむさしの食育フェスタを実施。

内容

学校給食の試食、市内産農産物直売会、市内栄養専門学校・学校給食職員による試食付きの調理実習、市内料理学校による試食付き講座、バター作り、甘酒作り、人参ドレッシング作り、うま味による減塩体験、飾り切り体験、食を題材にした工作、外国人講師による紅茶の試飲付き講話、食文化や市の食育事業のパネル展示、骨・血管・お口の健康度測定、魚釣りゲーム、絵本の展示と読み聞かせ

開催日 令和5年11月25日

場所 保健センター

来場者数 515人

実行委員会 主に食育担当課連絡会議に参加している課・団体と外部団体が参加し、4回開催

②特設ホームページ「食を育む。むさしの」における情報発信

市民の食への関心を高めるため、市の食育の取り組みを発信している。

特設ホームページ名 「食を育む。むさしの」

主な掲載内容

学校給食 給食調理場における調理風景の動画

市内農業 市内生産者や畑の写真

友好都市の食 各友好都市の特産食品の写真

その他の食育 各課の食育の取り組みの写真

公開日 令和2年12月15日

③ インターネットレシピサービス「クックパッド」を利用した「食」情報の提供

「クックパッド武蔵野市の公式キッチン」において、庁内各課から提供されたレシピを毎月19日に発信した。また、LINE、Facebook、X（旧ツイッター）において、レシピ更新に関する情報を発信した。

投稿レシピ数 37件

アクセス数 634,245件

届いたつくれば数 47件

レシピ提供 健康課、教育支援課（（一財）武蔵野市給食・食育振興財団）、子ども育成課、高齢者支援課、（公財）武蔵野健康づくり事業団

クックパッドの周知ちらしを作成し、母子保健事業来所者に配布した。

配布数 3～4か月児健康診査受診票に同封 1,022枚

④若年層に向けた普及啓発

令和元年度に市内大学生に対して行った食生活アンケートの結果を活用して、若年層に向けた食育リーフレットを令和元年度に作成し、令和2年度より配布している。

配布数 3歳児健康診査受診票に同封 1,040枚

若年層健康診査受診票に同封 1,319枚（計2,359枚）

保 健 衛 生

(3) 食育担当課連絡会議

食育に関する市の基本目標と基本方針に基づき、総合的に食育を推進していくために、食育を実施している担当課で構成する食育担当課連絡会議を開催している。

関係機関が連携し、すべての年代にわたって途切れることのない食育の取組みを進めていけるよう確認しあった。

実施回数 1回 令和5年5月9日（火）

担 当 課 産業振興課（農政係、消費生活係）、ごみ総合対策課、高齢者支援課、健康課、子ども子育て支援課、子ども育成課、指導課、教育支援課、生涯学習スポーツ課（生涯学習係、市民会館、ふるさと歴史館）、（一財）武蔵野市給食・食育振興財団、（公財）武蔵野健康づくり事業団、（公財）武蔵野市子ども協会

（健康課）

9. 健康増進事業

『自分の健康は自分で守ろう！』を合言葉に、「健康づくり推進員」、「健康づくり人材バンク」、「健康づくりパートナー」を三本柱とし、専門性と地域とのつながりを活かして、健康づくりに関心の薄い層や大切だと思いがちな実践に至っていない層へのアプローチを推進している。

（公財）武蔵野健康づくり事業団 健康づくり支援センターへの委託により実施。

(1) 健康づくり推進員

市民公募による21名の健康づくり推進員が、7名ずつで市内の東、西、中央地区を担当し、市民と健康づくり支援センターをつなぐ懸け橋として健康づくり情報の発信、地域ニーズの集約、健康づくり講座の企画運営等により、「自分の健康は自分で守ろう！」を実践する市民を増やすための活動を、地域とのつながりの中で行っている。

(2) 健康づくり人材バンク

保健師等の健康づくりの専門的知識を有する人材の登録制度。健康づくりの正しい知識を伝え、効果的な啓発を推進するために、健康づくりプログラムの作成実施等において、経験豊富な各分野の専門家により支援している。

人材バンク登録職種内訳（令和6年4月1日現在）

職種	保健師	歯科 衛生士	管理 栄養士	健康 運動指 導士等	理学 療法士	看護師	合計
登録者数（人）	2	3	11	33	2	1	52

(3) 健康づくりパートナー

①健康づくりはつらつメンバー（市民の登録制度）

自ら健康づくりを実践する市民を応援する登録制度。更にご家族や周りの方にも健康づくりを広めていただくことも目指している。自宅への郵送やメールによる健康づくり情報のお届け、オリジナル体操DVD進呈（希望者）等のメンバー特典を実施。

(令和6年4月1日登録者数 3,890人)

年度	元(31)	2	3	4	5
認定証交付数(人)	288	151	170	98	22

②健康づくり応援パートナー(事業者・団体等)

市民の身近な店舗等でのポスター掲示・チラシ配布等の情報発信、物品等の協賛、健康講座のコラボなどにより、さまざまな形での協力体制による健康づくりを推進している。

(健康づくり応援パートナー店 令和6年4月1日登録数 117 事業者)

年度	元(31)	2	3	4	5
新規登録数(事業所・店舗)	2	0	8	1	2

(4) 幼少期～少年期の子どもと保護者を対象とした事業

①けんこう★からだづくり事業

子どもと子育て世代への親子食育体験型教室の実施。

ア わくわくキッズ食育講座

アイスクリーム作り等の体験を取り入れた食育講座を実施。令和3年度から「食べ力のびのび教室」から名称を変更し、令和3年度のみオンライン出前講座として提供。

年度	元(31)	2	3	4	5
実施回数(回)	1	-	1	0	0
参加者数(人)	34	-	18	0	0

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止。

イ チャレンジキッズ教室

子どもは元気キッズ体操、大人はスポーツ栄養講座を実施。

年度	元(31)	2	3	4	5
実施回数(回)	-	-	-	0	0
参加者数(人)	-	-	-	0	0

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止。

ウ 親子食育ウォーキング教室

農家までのウォーキングと収穫体験、おやつ購入体験を取り入れた食選力をつける講座を実施。

年度	元(31)	2	3	4	5
実施回数(回)	2	-	-	1	1
参加者数(人)	46	-	-	17	10

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止。

保 健 衛 生

②オリジナルキャラクター「サシDANくん」による市内イベント等でのオリジナル体操「リズムでDAN
DAN! for キッズ」等の普及活動

年度	元(31)	2	3	4	5
実施回数(回)	7	-	-	-	-

※令和2、3、4年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止。

③健康づくり出前講座オンライン「ママのための栄養のお話&親子de体操」

コミュニティ協議会との共催事業として推進してきた「ママのための健康講座と親子de体操」を双方向のオンライン出前講座として実施（令和2年度は試行実施）。

年度	2	3	4	5
実施回数(回)	1	2	0	0
参加者数(人)	28	21	0	0

(5)成人期～中年期を対象とした事業

成人期～壮年期 概ね18歳～40代迄 中年期 50～60代迄

①健康体操教室（令和元年度まで）

健康の維持・増進のために自由来所制の運動講座を実施。

- ・利用方法 初めて参加する方はガイダンスを受講。
- ・一般利用 週3日4クラス（曜日ごとに強度の異なる運動を実施）

年度	ガイダンス(人)			一般利用(人)			利用者数(人)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
元(31)	6	52	58	261	3,691	3,952	267	3,743	4,010

健康体操教室 ウェルネス・エクササイズ（令和2年度から）

新型コロナウイルス感染症への対策のため、実施内容等を変更（事前申込制）。

- ・内容 ①正しい体の使い方 ②代謝アップ ③有酸素運動
- ・期間 各クラス週1回、全3回、毎月実施（1月を除く）
- ・会場 8・10月は西部地区外部会場、その他の月は保健センター
- ・定員 保健センター：16名×3クラス、境南コミセン：13名、西部コミセン：30名、市民会館：16名

年度	2	3	4	5
実施回数(回)	69	97	99	99
参加者数(人)	714	986	1,019	1,161

※令和2年度4～6月は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止（42回）。

※令和4年度までは①美姿勢 ②おなか引き締め ③免疫力アップ、各クラス週1回、全3回（一部の月・クラスは2回）、毎月実施（8月を除く）、13名×3クラス、保健センターのみで実施。

②学んで実践！ウォーキング教室

20～64歳の方（令和2年度は20～64歳の女性）を対象に、身近なウォーキングを効果的で安全に実施するために健康的な身体づくりの講座と日常生活での歩きの質を高めるウォーキング教室を実施。

年度	元(31)	2	3	4	5
実施回数(回)	8	6	4	4	4
参加者数(人)	77	78	58	49	28

※令和2年度上半期は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止（2回）。

※令和3年度は教室のポイントを抜粋し、「ウォーキング教室動画」としてホームページに掲載（(7)⑧自宅で健康づくり支援事業参照）。

③健康づくり出前講座オンライン併用型「知って得する！カラダのセミナー」

オンライン併用型（測定：健康づくり応援パートナー店舗などで対面実施。講座：ZOOMを使用したオンライン実施）健康づくり出前講座として、主に健康づくり応援パートナー店を対象として令和3年度から開始。若い世代の方々がより参加しやすくするため、測定は子ども同伴を可とした。令和4年度から「インボディ測定会」から名称を変更。（知って得する！カラダのセミナーの内容は(8)①参照）。

年度	3	4	5
実施回数(回)	3	2	0
参加者数(人)	29	19	0

※令和3年度の初回は試行実施。

(6)高齢期（65歳以上）を対象とした事業

①健康体操教室 シニアフィット

健康の維持・増進のための運動講座を実施。

- ・対象 65歳以上の運動可能な市民（運動強度：中～強）
- ・期間 隔週1回、全6回、3期（令和5年度）
- ・定員 16名×強度別2クラス（令和元年度までは30名×2クラス、令和2年度は10名×4クラス、令和3年度は10名×2クラス、令和4年度は13名×2クラス）

年度	元(31)	2	3	4	5
参加者数(人)	180	125	57	77	93

※令和元年度までは①ストレッチ&脳トレ②転倒予防&脳トレ、令和2年度は「椅子に座って健康体操」として実施。

※令和2年度前期は新型コロナウイルス感染症への対応のため講座は中止し、申込者へ「自宅でできる体操」テキストの提供を実施。

保 健 衛 生

②健康づくり応援プログラム まるごと元気力向上教室

転倒予防に効果的な足・腰・腹部の筋力アップやバランス能力・歩行能力向上を目指した運動や講座を実施。令和4年度から「ころばぬコース」から名称を変更。

- ・対象 65歳以上の体力に自信のない市民（運動強度：弱）
- ・期間 隔週1回、全6回、3期（令和5年度）
- ・定員 16名×2クラス（令和2年度までは1クラス、令和元年度までは25名、令和2年度はⅠ期12名、Ⅱ・Ⅲ期15名）

年度	元(31)	2	3	4	5
参加者数(人)	64	40	90	96	95

※令和2年度5～6月は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止（8回）。

③高齢者筋力向上プログラム

市内のスポーツクラブを活用し、筋力の維持・向上を目指した運動や講座を、東部地区（吉祥寺駅周辺）と西部地区（武蔵境駅周辺）にて実施。

ア 健脚体操教室～目指そう！アクティブシニア（東部地区。令和3年度3期から実施。令和5年度から「つくろう！健脚教室」から名称を変更。）

- ・会場 メガロス吉祥寺
- ・対象 65歳以上の方で筋力の衰えを感じている市民（運動強度：中）
- ・期間 毎週1回、全12回、年3期
- ・定員 20名（令和4年度は隔週1回、全6回、12名×4クラス）

年度	3	4	5
参加者数(人)	37	77	104

イ いきいき体づくり教室（西部地区）

- ・会場 メディカルフィットネスクラブ武蔵境
- ・対象 65歳以上の方で筋力の衰えを感じている市民（運動強度：中）
- ・期間 毎週1回、全12回、年3期（令和5年度）
- ・定員 18名×2クラス（令和元年度までは25名×2クラス、令和2年度は12名×2クラス、令和3・4年度は12名×4クラス）

年度	元(31)	2	3	4	5
参加者数(人)	150	74	141	144	108

※令和2年度1期は新型コロナウイルス感染症への対応のため、講座は中止し、申込者へ「自宅でできる体操」テキストの提供を実施。

ウ オリジナル体操「だんだん活力アップ体操」の普及

市内イベント等で高齢者向けオリジナル体操のデモンストレーション等を実施。

年度	元(31)	2	3	4	5
実施回数(回)	2	-	0	2	3
参加者数(人)	600	-	0	321	80

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止。

(7) 全世代共通事業

①健康づくりはつらつメンバーの集い

健康づくりはつらつメンバー（健康づくり普及員）を対象とした健康づくり講座を、東・西・中央の各地区で実施。令和3年度で終了。

年度	元(31)	2	3
実施回数(回)	7	-	-
参加者数(人)	154	-	-

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止。

②地域各種団体等との共催事業

健康づくり推進員の企画等により、地域との連携による健康づくり講座を実施。

年度	元(31)	2	3	4	5
団体数(件)	6	-	1	3	1
実施回数(回)	16	-	6	8	1
参加者数(人)	255	-	71	118	22

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止（6回）。

③健康づくり応援パートナー連携事業

コミュニティ協議会との共催で実施してきた健康づくり啓発連続講座を、コミュニティ協議会の主催事業に移行して実施する事業として平成31年4月から開始。

年度	元(31)	2	3	4	5
団体数(件)	2	-	1	2	3
実施回数(回)	9	-	4	8	12
参加者数(人)	200	-	39	129	202

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応のため中止（6回）。

保 健 衛 生

④健康づくり自主活動グループ立ち上げ支援

コミュニティ協議会・健康づくり推進員ＯＧ等と協力した、健康づくり自主活動グループ立ち上げ支援の取組みを、東・西・中央地区で実施。立ち上げ後の自主グループの検証・課題整理をあわせて実施。

年度	連携・協力	内容	実施回数（回）	参加者数（人）
元(31)	該当なし	－	－	－
2	該当なし	－	－	－
3	該当なし	－	－	－
4	該当なし	－	－	－
5	該当なし	－	－	－

⑤健康づくり協力事業

一般市民に広く効果的な健康づくり啓発を行うことを目的として、市内の企業・団体等からの依頼に対し、健康づくり人材バンクによる講座等を実施。

年度	元(31)	2	3	4	5
実施回数（回）	3	1	3	4	4
参加者数（人）	244	14	465	734	937

※令和3年度実施の内2回はオンラインによる動画提供。参加者数は、動画視聴数を含む。

⑥健康づくり出前講座

概ね10名以上の市民グループ等に対して、健康づくり人材バンクによる栄養、保健、歯科、運動の健康づくり講座を随時実施。令和3年度から子ども同伴での実施を可能とした（令和3年度は2回6名、令和4年度2回14名、令和5年度4回25名）。

年度	元(31)	2	3	4	5
実施回数（回）	24	4	17	35	33
参加者数（人）	452	74	288	482	532

⑦栄養情報お届け事業

管理栄養士考案の「栄養コスパ満点！時短レシピ」を、啓発チラシのほか、FMむさしの・フェイスブック・X(旧ツイッター)・メールマガジン等にて配信。また、健康づくり広報誌にもレシピを掲載。

年度	元(31)	2	3	4	5
件数（件）	5	6	9	11	12

⑧自宅で健康づくり支援事業（令和2年度までは、自宅で体操支援事業）

1日の活動量が減少している市民への健康づくり支援として、ホームページ内（市リンク）に「おうち時間de健康づくり」コーナーを開設するほか、メールマガジン「むさしの健康づくり応援ニュース」での配信、窓口での配布等により実施。令和3年度は「学んで実践！ウォーキング教室」のポイントを抜粋し「ウォーキング教室動画」としてホームページに掲載。令和4年度は「腰痛予防教室」のポイントを抜粋し、「腰痛予防教室紹介動画」としてホームページに掲載。また、「食育事業紹介動画」を作成し、ホームページに掲載。令和5年度は「だんだん活力アップ体操」の動画をリニューアル。

年度	元(31)	2	3	4	5
毎日★自宅ジム（件）	9	15	0	0	0
動画提供（件）	0	0	9	4	5

(8)成人期～中年期、高齢期共通事業

①知って得する！カラダのセミナー

体成分分析装置を使用して、身体の部位別の筋肉量や体脂肪量、基礎代謝量などを測定し、健康運動指導士による結果の見方説明と自宅で簡単に組み入れる運動の紹介、管理栄養士による栄養講座を実施（年11回、定員は保健センター12名、12月から14名、商工会館・市民会館10名、12月から12名。令和元年度までは定員20名、令和2年度は定員16名、令和3・4年度は定員10名）。令和4年度から「インボディ測定会」から名称を変更。

年度	元(31)	2	3	4	5
参加者数（人）	154	87	102	104	121

※令和2年度9月までは新型コロナウイルス感染症への対応のため中止（5回）。令和2年度10～3月は筋力低下を自覚している65歳以上の方を対象に実施。

②インボディミニ測定

インボディ測定会に参加したことのある60歳以上の方を対象として、測定のためのインボディ測定を実施。（年12回、定員12名。令和元年度までは定員10名）

年度	元(31)	2	3	4	5
参加者数（人）	44	46	70	57	60

※令和2年度4～6月までは新型コロナウイルス感染症への対応のため中止（3回）。

③ノルディックウォーキング教室

20歳以上の方を対象に、身近なウォーキングを効果的で安全に実施するために、低体力の方も参加できる、正しい歩き方を身につけるための講座・実技・実践を取り入れたノルディックポールを使用したウォーキング教室を実施。講座参加後の健康づくり活動団体への参加等の自主活動への勧奨を実施。

年度	元(31)	2	3	4	5
実施回数（回）	7	6	4	4	4
参加者数（人）	83	67	73	56	52

※令和2年度4～8月までは新型コロナウイルス感染症への対応のため中止（4回）。

保 健 衛 生

④通信制講座

来所型講座に参加が難しい方を対象として、通信講座を実施。

ア チャレンジウォーキング

歩数と効果による目標設定と実践を行うウォーキングの通信講座。資料及び動画提供等による啓発・継続支援を実施し、1か月毎の達成度に対し、健康運動指導士の応援メッセージによる支援を実施。令和4年度から現在の名称に変更。令和2年度までは「日本縦断KKC」、令和3年度は「健康ウォーキング100日チャレンジ」として実施。

また、講座修了者や個人で実践を希望される方に対し、資料提供による継続支援「自分でこつこつKKC」（健康健脚チャレンジャー）を実施。

年度	元(31)	2	3	4	5
チャレンジウォーキング(人)	55	16	148	100	87
自分でこつこつKKC (人)	44	37	27	46	13

イ 食事の診断

本人、パートナー、子供等の1日の食事記録と気になる食習慣などの相談に対し管理栄養士が分析・アドバイスを実施。令和3年度からWebフォームによる食事記録表の提出を開始。

年度	元(31)	2	3	4	5
参加者数(人)	69	74	53	37	20

⑤腰痛予防教室

腰痛の緩和及び予防につながる自宅でも継続できるプログラムを実施。20歳以上の市民を3つの対象世代（子育て世代、20歳～64歳の働き盛り世代、20歳以上全世代）に分けて、年2期実施（令和元年度までは1コース全3回、令和2、3年度は予防コース、改善コース、緩和コースの目的別3コースを実施）。令和4年度から「腰痛予防 背骨コンディショニング教室」から名称を変更。

年度	元(31)	2	3	4	5
実施回数(回)	6	6	7	6	6
参加者数(人)	30	46	61	64	78

※令和4年度は、腰痛予防教室のポイントを抜粋し、「腰痛予防教室紹介動画」としてホームページに掲載（(7)⑧自宅で健康づくり支援事業参照）。

⑥健康づくり人材バンク紹介事業

市内の企業・団体等の希望する日時・講師謝礼予定額に応じて、健康づくり人材バンクを紹介する事業。

年度	元(31)	2	3	4	5
実施回数(回)	0	1	0	0	5
参加者数(人)	0	7	0	0	202

※令和2年度前期は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止。

(9) 健康づくり情報の発信

①健康づくり広報誌の発行

一次及び二次予防事業の内容を含む、全世代を対象とした広報誌「むさしのけんこうづくり通信～わがまち武蔵野 健康生活」を発行。年1回全戸配布。令和3年度で終了。

年度	元(31)	2	3
発行部数(部)	85,600	86,200	86,500

②健康づくり事業団広報パンフレットの発行

健康づくり広報誌の発行に替えて、令和4年度は健康づくり事業団の実施事業等を総合的に紹介する広報パンフレットを発行し、全戸配布。

年度	4
発行部数(部)	95,000

③健康づくり事業団広告掲載

健康づくり広報パンフレットの発行に替えて、令和5年度は「ムーバス時刻表」目次下特別広告に掲載。

年度	5
発行部数(部)	8,300

④「健康づくり活動情報誌」の発行

健康づくり活動団体の紹介、市関連施設及び武蔵野健康づくり事業団の事業を掲載した情報誌を配布。健康づくりはつつメンバーに郵送で配付。令和元年度から、健康づくり応援パートナー店によるクーポン券を掲載。令和2年度で終了。健康づくり活動情報誌の発行に代わり、令和3年度に健康づくり支援センターホームページをリニューアルし、ホームページによる情報発信を実施。

年度	元(31)	2
配布数(冊)	4,116	4,498

⑤市内イベント等での健康づくり情報発信活動

各種測定、健康クイズ・展示等により、市民等への健康づくり情報発信を実施。

年度	元(31)	2	3	4	5
件数(件)	10	1	5	14	15

⑥J：COM武蔵野三鷹を活用した啓発事業

だんだん活力アップ体操「リズムでだんだん」の放映

・放送日 月曜日～金曜日

・放送時間 午前8時00分～8時10分、午後2時00分～2時10分

「リズムでDANDAN! for キッズ」の放映

・放送日 土曜日、日曜日

・放送時間 午前8時00分～8時05分、午後2時00分～2時05分

保 健 衛 生

⑦むさしのFMを活用した情報提供

各種検診、各種相談、健康教育等に関する情報を提供する「むさしの健康もぎたて情報」を放送。
毎週金曜日を「健康もぎたて情報特別編」として、健康づくり推進員及び健康づくり人材バンク等の番組出演によるテーマ別の放送内容を提供。

- ・放送日 月曜日～金曜日
- ・放送時間 午前10時35分～10時40分

⑧フェイスブック・X（旧ツイッター）公式ページの運用

「ムサシDANくん」を親しみやすい身近な健康づくりイメージキャラクターとして活用し、地域への更なる健康づくり普及活動につなげるためSNSによる情報発信を実施。

- ・開設アカウント名 「健康ナビゲーター ムサシDANくん」
- ・投稿内容 ア 健康づくり情報発信 イ 事業紹介等（募集・紹介・実施報告等）

年度	元(31)	2	3	4	5
フェイスブック（件）	81	73	107	117	107
X（旧ツイッター）（件）	78	71	106	116	107

⑨メールマガジンの配信

健康づくりはつらつメンバー及び市民の登録者を対象に配信。

- ・メールマガジン名 「むさしの健康づくり応援ニュース」
- ・配信内容 ア 健康づくり啓発記事（保健・栄養・運動・歯科）
イ 事業案内
ウ 市内健康づくり情報ピックアップ（市内関連部署の健康づくり関連情報など）

年度	元(31)	2	3	4	5
登録者数（人）	733	924	1,121	1,246	1,271
配信数（回）	41	49	39	42	40

⑩健康づくり支援センターホームページによる情報発信

令和3年度、健康づくり支援センターホームページをリニューアルし、市内で武蔵野市民が利用できる健康づくり情報を集約してタイムリーに掲載、発信。

年度	3	4	5
閲覧数（回）	41,417	82,463	91,918

（公益財団法人武蔵野健康づくり事業団）

10. 介護予防事業

(1) 歯つらつ健康教室

歯科医師・歯科衛生士による口腔機能の検査・口腔ケアの講義や口の体操等を実施。

- ・定員 第1期12名、第2期15名、第3期20名
- ・第1期は3回を1コース、第2期・第3期は6回を1コースとして実施
- ・前年度健康診査受診者のうち、問診でかみにくさやむせのある者（第1期65歳～70歳、第2期・第3期71歳～76歳）に個別参加勧奨を実施

※令和3年度までは6回を1コースとして年3回実施

※令和4年度から第1期を元気な高齢者向けオーラルフレイル講習（65歳～74歳）として実施

年度別参加者数

年度	元(31)	2	3	4	5
参加者実人数	37	18	43	32	28
参加者延人数	170	98	241	146	117

(2) おいしく元気アップ！教室

管理栄養士による栄養改善、低栄養予防を目的とした講義・簡単な料理の紹介や、健康運動指導士等による筋力・口腔機能向上体操等を実施。

- ・定員 第1期 15名、第2期 20名、第3期 16名、第4期 20名、第5期 15名
- ・3回を1コースとして年5コース実施
- ・前年度健康診査受診者のうち、65歳～76歳で問診で欠食や体重減少のある者に、個別参加勧奨を実施。

年度別参加者数

年度	元(31)	2	3	4	5
参加者実人数	74	32	45	55	43
参加者延人数	199	85	105	128	106

(3) 健康やわら体操

柔道整復師による転倒予防等運動機能を維持するための介護予防体操を実施。

- ・定員 第1期 50名、第2期・第3期 各期 44名
- ・5回を1コースとして年6コース実施

年度別参加者数

年度	元(31)	2	3	4	5
参加者実人数	66	90	123	126	123
参加者延人数	406	303	515	522	508

(健康課)

11. こころの健康づくり事業

(1) こころの健康づくり庁内連携会議

関係各課が実施する「こころの健康づくり」に関する事業や相談支援についての取り組みを体系化し、全庁的な視野で「こころの健康づくり」の推進を図ることを目的に開催している。

平成23年度より実施。令和3年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため、書面での開催とし、令和4年度は開催を見合わせ、各課における実施事業の進捗状況の把握・共有を実施し、令和5年度は、武蔵野市自殺総合対策計画の策定に伴い、進捗状況の把握・共有を実施した。

保 健 衛 生

(2) こころといのちの基礎研修

市民のこころの健康づくりと自殺予防に資することを目的とし、全職員が受講可能な研修を実施し、自殺対策を支える人材の育成を図る（人事課と共催で平成 23 年度から実施。平成 30 年度に武蔵野市自殺総合対策計画を策定し、「ゲートキーパー養成研修」の名称を「こころといのちの基礎研修」に変更）。

年度	テーマ	講師／教材	参加者（人）
元 (31)	つらい気持ちに気づいて・聴いて・つなげる	特定非営利活動法人メンタルケア協議会 西村 由紀	54
2	コロナ禍におけるメンタルヘルス対策	特定非営利活動法人メンタルケア協議会 西村 由紀	64
3	コロナ禍の気持ちに向き合う	特定非営利活動法人メンタルケア協議会 西村 由紀	97
4	悩んでいる人に気づいたら	特定非営利活動法人 OVA 動画教材	153
5	いのちを支えるためにできること	特定非営利活動法人 OVA 動画教材	140

※令和 3 年度は、会場とオンラインの併用開催。令和 4 年度と令和 5 年度は、会場開催とオンデマンド配信を併用。

(3) 庁内専門職向けスキルアップ研修

「気づき」にとどまらず自殺ハイリスク者への伴走型のサポートが可能となるような専門性の高いスキルを身につける目的で「自殺危機初期介入スキル研究会」のワークショップに庁内専門職等 2 名を毎年派遣している。令和 5 年度は研究会の開催がなかったため、派遣は行わなかった。

(4) 検索連動型エリア広告を活用した自殺対策

市内に在住・在勤・在学している方などが市域内で自殺関連ワードをインターネット検索した際に、こころのケアに関する地域の相談窓口・支援等を掲載している市のサイトを優先表示する事業を行い、支援を必要としている人が簡単かつ適切に支援情報にアクセスできる仕組みづくりを図っている（令和 4 年 7 月 26 日より開始）。

検索連動型エリア広告による市 H P「生きることの支援」へのアクセス数

年度	4	5
アクセス数	5,988	7,887

（健康課）

12. 薬の相談事業

(1) かかりつけ薬局推進事業「薬の相談」

薬の正しい使い方を知ることが目的として、武蔵野市薬剤師会が市民を対象に実施する。

- ・実施方法 武蔵野市薬剤師会が随時実施
- ・実施場所 市内の会員保険薬局

相談内容（令和 5 年度）

内容	薬の 効能	薬の 副作用	薬の飲み 合わせ・ 相互作用	薬の 用法	薬の 保管方法	薬の 識別	健康 相談	その他	合計
件数	88	112	179	200	12	13	50	220	874

(2) くすりと健康展

- ・実施方法 「薬と健康の週間」に合わせ、武蔵野市薬剤師会が関係機関と協力して実施
- ・実施場所 イトーヨーカドー武蔵境店 東館入口前
- ・実施日時 令和5年10月15日（日） 午前11時～午後5時
- ・事業内容 薬の無料相談、薬物乱用防止運動、血圧測定、一般用医薬品、健康食品含め薬の使い方

年度別相談数（薬の無料相談）

年度	元(31)	2	3	4	5
相談者数	92	48	70	57	49
相談件数	195	83	139	92	120

(健康課)

13. 休日診療事業

(1) 休日診療事業

休日診療として、日曜日、国民の祝日及び12月29日から1月3日までの年末年始（以下、休日という。）に診療施設を確保し初期救急医療を行い、休日・全夜間診療として、平日夜間、休日全日に東京都指定二次救急医療機関で急病患者に外来診療を行っている。

また、令和2年度から令和4年度は年末年始において、市内医療機関等でのPCR検査が可能な診療体制を整備した。

- ・実施方法 武蔵野市医師会・武蔵野市歯科医師会・武蔵野市薬剤師会への市の委託又は補助
- ・周知方法 市報、市ホームページ

区分	診療・開設時間	医療機関
休日診療（昼間）	休日の午前9時～午後5時	市内診療所輪番（2か所） 市内2病院（※1）輪番（1か所）
休日準夜間診療	休日の午後5時～午後10時	市内2病院（※1）輪番（1か所）
休日・全夜間診療	休日24時間と平日の午後5時～翌午前9時	東京都指定二次救急医療機関（※2）
休日歯科診療	午前9時～午後5時	市内診療所輪番（1か所）
休日耳鼻科診療		都内診療所割当
休日眼科診療		
休日調剤薬局開設		市内薬局輪番（2か所）

※1 吉祥寺南病院、森本病院（令和3年5月末まで）、武蔵野陽和会病院

※2 吉祥寺南病院、森本病院（令和3年5月末まで）、武蔵野陽和会病院、武蔵野赤十字病院

保 健 衛 生

①年度別実施結果

年度	休日診療						休日・全夜間診療 ※1	
	当番医療機関数		延開設日数		受診者数		延開設 日数	受診 者数
	休日 (昼間)	準夜間	休日 (昼間)	準夜間	休日 (昼間)	準夜間		
元(31)	病院1 診療所2	病院1	228	76	7,423	334	366	20,700
2			216	72	2,445	151	365	13,541
3			216	72	3,292	153	365	15,035
4			216	72	3,828	169	365	15,321
5			219	73	6,443	148	366	17,310

年度	休日歯科		休日耳鼻科		休日眼科		休日調剤薬局		休日調剤薬局※2 (管理センター分)	
	延開設 日数	受診 者数	延開設 日数	受診 者数	延開設 日数	受診 者数	延開設 薬局数	処方箋 受付数	延開設 日数	処方箋 受付数
元(31)	76	237	7	470	7	444	131	4,550	52	793
2	72	174	6	153	5	269	124	1,440	-	-
3	72	180	4	150	9	403	128	2,063	-	-
4	72	169	7	283	9	390	127	2,692	-	-
5	73	184	7	285	9	446	134	4,852	-	-

※1 救急搬送は含まない数値であり、かつ、市内2病院での休日診療・休日準夜間診療を含む数値である。

※2 一般社団法人武蔵野市薬剤師会管理センター休日調剤薬局については令和元年度にて業務終了。

②月別受診者数（令和5年度）

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
休日（昼間）	396	563	287	394	355	723	493	475	877	953	533	394	6,443
休日準夜間	12	10	11	11	5	9	10	11	21	20	11	17	148
休日・全夜間※	1,112	1,423	1,426	1,570	1,263	1,396	1,535	1,333	1,662	2,014	1,317	1,259	17,310
休日歯科	15	35	4	6	12	7	11	4	35	38	11	6	184
休日耳鼻科	0	68	0	14	0	19	0	0	0	184	0	0	285
休日眼科	50	0	0	61	0	0	80	44	0	45	116	50	446
合計	1,585	2,099	1,728	2,056	1,635	2,154	2,129	1,867	2,595	3,254	1,988	1,726	24,816

※救急搬送は含まない数値であり、かつ、市内2病院での休日診療・休日準夜間診療を含む数値である。

③月別開設調剤薬局数・処方箋受付数（令和5年度）

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
調剤薬局	11	13	7	10	10	11	10	12	14	14	11	11	134
処方箋受付数	368	410	175	235	284	496	322	386	811	607	453	305	4,852

（健康課）

14. 感染症予防対策事業

(1) 通常の感染症予防対策

平成11年4月から、「伝染病予防法」が廃止され、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行され、多摩府中保健所等と連絡を密にして防疫活動を実施するとともに、武蔵野赤十字病院内に感染症患者の収容施設を設置している。

(2) 新型コロナウイルス感染症発生に伴う感染症対策

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日以降、感染症法上の5類に移行された。

①武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

武蔵野市における新型コロナウイルス感染症対策について、意見を聴取するとともに、助言を求めるため、武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議を開催した。

開催	日程	主な議題
第1回 全体会	令和2年3月9日	(1) 新型コロナウイルス感染症これまでの経緯、(2) 武蔵野市の新型コロナウイルス感染症対策と今後の対応について、(3) 今後の検査・医療体制等について
第2回 全体会	令和3年8月23日	(1) 教育活動の留意事項、(2) 宿泊行事の実施、(3) 部活動の実施、(4) 学校施設開放、(5) 2学期の開始時期

②PCR検査体制の整備

ア 武蔵野市PCR検査センター

新型コロナウイルス感染症拡大リスクに備え、令和2年度に唾液による検体採取やドライブスルー方式などによるPCR検査を実施する体制を整備した。

開設期間	令和2年5月21日 ～令和3年2月28日
検査数(人)	370
陽性者数(人)	26
陽性率(%)	7.0

イ 市内の各医療機関におけるPCR検査等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、市内のPCR検査を行う医療機関に対して、令和2年度に検査体制の整備を進めるための補助を行い、市民が身近な医療機関でPCR検査を受けられる体制の充実を図った。

・武蔵野市医師会の医療機関によるPCR検査等

年度	2	3	4	5
検査数(人)	4,025	24,661	44,983	2,799
陽性者数(人)	494	6,908	18,150	413
陽性率(%)	12.3	28.0	40.3	14.8

※2、3次救急医療機関を除く。

※令和5年度は、4月1日から5月7日まで。

保 健 衛 生

③感染症指定病院及び救急医療機関の医療提供体制の充実

感染症患者の受け入れを行う感染症指定病院や市民のＰＣＲ検査等を行う救急病院に対して、令和２年度に補助金を支出した。

病院	補助金額（円）
武蔵野赤十字病院	90,000,000
武蔵野陽和会病院	30,000,000
吉祥寺南病院	30,000,000
森本病院	20,000,000

④医療機関へのマスクや防護服等の配布、貸与

全国的なマスク不足が深刻な状況となり、医療機関においても、マスクや防護服等の感染防止資材が不足する状況となったため、令和２年２月下旬頃から、市内の医療機関に対して、市で備蓄していたマスクや防護服等の配布・貸与を行った。なお、各診療所等には、武蔵野市医師会等を通じて、配布・貸与を行った。令和３年度からは、自宅療養者への診療などにも各種衛生用品の活用が図られた。

医療機関へ配布・貸与した主な実績

年度	実施日	対象機関	内容
元 (31)	令和２年２月２８日等	武蔵野市医師会	マスク約 20,000 枚
	令和２年３月６日	吉祥寺南病院	マスク 2,000 枚
	令和２年３月９日	森本病院	マスク 2,000 枚
	令和２年３月１８日	武蔵野陽和会病院	マスク 5,000 枚
	令和２年３月３０日	武蔵野市歯科医師会	マスク 6,000 枚
２	令和２年４月２日	武蔵野市薬剤師会	マスク 3,000 枚
	令和２年４月９日	武蔵野赤十字病院	医療用手袋 1,000 双 防護服 800 着
３	令和３年８月１８日等	武蔵野市医師会	マスク 104,000 枚 医療用手袋 40,000 双 防護服 200 着 など
	令和３年８月２３日等	武蔵野市薬剤師会	マスク 約 17,000 枚 医療用手袋 63,000 双 防護服 50 着 など
４	令和４年６月６日等	武蔵野市薬剤師会	マスク 10,050 枚 消毒用エタノール 335 本
５	令和５年１１月３０日等	武蔵野市医師会	消毒用エタノール 791 本
	令和５年１２月１３日	武蔵野市歯科医師会	消毒用エタノール 100 本
	令和５年１２月１３日	武蔵野市薬剤師会	消毒用エタノール 140 本

⑤妊婦へのマスク配布

ア 出産予定の妊婦の感染不安を軽減するため、市独自でマスクを配布した。

イ 厚生労働省による妊婦用マスクを窓口配布及び郵送配布した。

	配布日	内容
ア	令和2年4月30日（4月出産予定の妊婦）	紙マスク3枚、ポリウレタンマスク1枚
	令和2年5月20日（5月以降出産予定の妊婦）	ポリウレタンマスク2枚
イ	令和2年6月～10月	布マスク2枚（毎月）

⑥自宅療養者への医療支援体制の整備

令和3年度に武蔵野市医師会の各医療機関へパルスオキシメーター200台の貸与配備や、酸素濃縮器の整備（リース方式）等に係る経費補助等を行い、PCR検査等を実施した市内医療機関が自宅療養者の病状等に応じてパルスオキシメーターを貸与、健康観察、電話・オンライン・訪問等による診療、酸素濃縮器の貸与等を行う医療支援体制を整備した。令和5年度も引き続きパルスオキシメーターの貸与を継続した。

令和3年8月～	パルスオキシメーター200台を武蔵野市医師会の各医療機関に貸与配備
令和3年9月 ～令和4年3月	酸素濃縮器の貸与実績 4件

⑦東京都モニタリング検査（PCR検査）への協力

東京都が実施するモニタリング検査（PCR検査）事業に市として協力を行い、武蔵野市商店会連合会会員及びその従業員のうち希望する方を対象として、各商店会長を通じて検査への協力を依頼した。

・検査期間 令和3年6月14日～18日、令和3年8月30日～9月12日

⑧抗原定性検査キットの配布

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外来医療のひっ迫に備えるとともに、有症状の市民が少しでも早く抗原定性検査を行うことができるよう、都道府県が行う抗原定性検査キットの配布事業に加え、市における抗原定性検査キットの当日配布事業を試行で実施した。「のどの痛み・発熱等の症状がある、重症化リスクの低い方」あるいは「無症状である濃厚接触者の方」に該当する市民を対象として郵送配布した。

抗原定性検査キットの配布実績

年度	配布期間	配布数（キット）
4	令和5年1月10日から3月31日まで ※土曜日曜祝日を除く	555
5	令和5年4月1日から5月2日まで ※土曜日曜祝日を除く	157

保 健 衛 生

⑨武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部の設置

新型コロナウイルスワクチンの住民接種の円滑な実施を推進するため、市長を本部長とする「武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部」を設置し、接種実施に係る協議を行った。

年度	回数	開催回
2	11回	第1回～11回
3	33回	第12回～44回
4	18回	第45回～62回
5	10回	第63回～72回

(健康課)

15. 公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団

(1)団体の概要

「健康」というかけがえのない財産を自ら守っていくことができるように、市民のあらゆるライフステージに対応した健康づくりの専門的な支援を行う。いつまでも健康で暮らしつづけることのできるまちづくりを、市とともに推進する。

(2)主な事業

①一次予防（生活習慣の改善により疾病そのものを予防）及び二次予防（疾病の予防・早期発見）の連携による健康増進事業

ア 健診事業と健康増進事業との連携

- ・人間ドック健康相談での支援センターの事業紹介と必要に応じて窓口案内
- ・人間ドック受診者へ個々にあった生活習慣改善のチラシ配布
- ・人間ドックの健診結果票裏面に健康づくり支援センター事業の案内を表記
- ・支援センター事業における人間ドック受診のための勧奨チラシ配布
- ・人間ドック受診者への禁煙に関する情報の提供（対象：喫煙者 151 人）

イ 事業所健診受診者への栄養指導

- ・内 容 福祉関連事業所健診における受診者(障がい者)の健康増進への寄与を目的として健康教育等の利用が限られる福祉施設利用者への栄養指導を実施。
- ・対 象 者 当事業団の事業所健診の結果により指導が必要と判断した受診者とその家族
- ・実施者数 15 名

②武蔵野市から受託する各種検診・健診に関する事業

各種がん検診、骨粗しょう症検診、特定保健指導、健診結果の見方講座、糖尿病性腎症重症化予防事業等を実施。(3. 老成人保健事業、4. 骨粗しょう症検診事業、X. 国民健康保険、5. 保健事業の状況参照)

③地域医療機関との連携による各種検査事業

ア 医療機関からの依頼による検査実績

検査項目 9 種類、依頼医療機関 35 か所、検査件数 713 件

年度	元(31)	2	3	4	5
件数	876	742	775	801	713

イ 特定健康診査付加診査のうち、医療機関からの依頼による検査実績

医療機関数 44 か所、検査件数 487 件

年度	元(31)	2	3	4	5
件数	586	545	616	611	487

ウ 若年層健康診査のうち、医療機関からの依頼による検査実績

医療機関数 1 か所、検査件数 18 件

年度	元(31)	2	3	4	5
件数	5	1	12	13	18

エ 保険診療（一般外来）

診療件数 1 件

年度	元(31)	2	3	4	5
件数	0	2	0	0	1

④地域内事業所及び地域住民に対する健康管理に関する事業

ア 総合健康診査（人間ドック）

- ・実施日 毎週火曜日・木曜日（定員：16 名）
- ・実施日数 99 日（託児付設定日：5 日）
- ・受診者数 ドック 1,184 名（託児付 2 名）、オプション検査受診者数 824 名（延受診件数 1,719 件）

ドック受診者数

年度	元(31)	2	3	4	5
件数	1,302	970	1,133	1,125	1,184

オプション検査延受診件数

年度	元(31)	2	3	4	5
件数	1,915	1,431	1,657	1,630	1,719

保 健 衛 生

イ 市内の事業所等からの依頼に基づく健診等

- ・ 定期健康診断及び採用時健康診断 60 事業所、延受診者数 1,500 名
- ・ 市職員胃検診 受診者数 22 名
- ・ 市内在住、在勤、在学者を対象とした個人健康診断 受診者数 79 名
- ・ 市内消防団員及び市職員を対象とした破傷風予防接種 延接種者数 44 名
- ・ 市職員を対象とした B 型肝炎予防接種 延接種者数 0 名

受診者数

年度	元(31)	2	3	4	5
人数	1,713	1,749	1,571	1,775	1,645

⑤地域との連携を主体とした健康づくり意識の普及・啓発に関する事業

ア 市民の健康づくりを応援する三本柱との連携

「健康づくり推進員」、「健康づくり人材バンク」、「健康づくりパートナー」と連携して、市民の身近な地域で健康づくり支援を実施。(10. 健康増進事業参照)

イ 地域支援者等への健康づくりに関する知識の普及・啓発

地域医療の専門性向上支援のため、市内の地域支援者等を対象とした新たな知識の習得及び先駆的な取組みの研究を主眼とした共同研修として、学術的な講演会を実施。

開催日	内容	参加者(人)
3月7日(木)	「コロナ時代の精神症状の理解」 講師：武蔵野赤十字病院 武藤 仁志氏 ※オンライン開催	86
3月14日(木)	「歯と口は健康寿命を延ばす鍵」 講師：日本大学歯学部教授 川戸 貴行氏	50

⑥健康づくり情報発信に関する事業

ア 健康管理、保健衛生に関する知識の啓発普及

- ・ むさしのFMを利用して、健康全般に関する「むさしの健康もぎたて情報」を毎週月曜日から金曜日に放送。金曜日特別編は健康づくり人材バンク及び健康づくり推進員等による啓発。
- ・ ホームページ・フェイスブック・X(旧ツイッター)・メールマガジン等により健康づくりに役立つ情報等を提供

イ 広告掲載、J:COM武蔵野三鷹を活用したオリジナル体操の放映、健康づくり応援パートナーによる健康づくり情報の発信。(10. 健康増進事業参照)

(公益財団法人武蔵野健康づくり事業団)